

健康づくりをめざして

平成 21 年度

事業概要

茨城県鉾田保健所

目 次

第1章 保健所の概要

1 沿 革	1
2 管内の概況	3
3 機 構	4
4 職員構成	4
5 業務内容	5
6 相談・検査日	6
7 位 置	7

第2章 平成21年度事務事業の執行状況

第1節 総務課

1 経理状況	8
2 厚生統計調査	9
3 衛生教育	10
4 医 事	10
5 救急医療	12
6 地域保健推進	12

第2節 衛生課

1 食品衛生	15
2 環境衛生	20
3 水 道	22
4 薬 事	23

第3節 健康指導課

1 健康づくり事業	27
2 健康増進事業	31
3 歯科保健事業	33
4 母子保健指導	34
5 精神保健福祉対策	39
6 結核・感染症・エイズ予防・難病対策	42
7 原子爆弾被爆者対策	51

第4節 新型インフルエンザ	52
---------------------	----

付属資料

平成22年度銚田保健所年間行事予定表	56
--------------------------	----

第 1 章 保健所の概要

(平成 22 年 4 月 1 日現在)

第 1 章 保健所の概要

1 沿革

- 昭和22年 3月 厚生省告示に基づき民家の一隅を借り仮事務所開設（1箇所目）
（銚田町ほこた橋際横田「熊野本宅」）
- 4月 初代所長 大塚 一郎
- 23年 2月 事務所を銚田町銚田北浦病院内に移転（2箇所目）
- 5月 管轄区域鹿島郡全町村であったものが下記のとおりとなる。
東茨城郡 - 白河村，橋村
鹿島郡 - 夏海村，大谷村，沼前村，巴村，徳宿村，諏訪村，銚田町，新宮村，
上島村，白鳥村，大同村
行方郡 - 立花村，現原村，玉造町，手賀村，玉川村，武田村，津澄村，秋津村，
要村
- 24年 1月 課制施行（庶務課，保健予防課）2課となる。
- 4月 2代所長 飯田 隆
- 25年 4月 3代所長 川崎 正己 兼務
- 7月 庁舎新築移転（3箇所目）
（銚田町大字塔ヶ崎字沢三木 建築延面積335平方メートル）
- 8月 4代所長 藤崎 米蔵
- 27年 5月 優生保護相談所併設
- 28年 3月 性病診療所併設（34年3月廃止）
- 30年 4月 町村合併により管轄区域変更
東茨城郡 - 小川町
鹿島郡 - 旭村，銚田町，大洋村
行方郡 - 北浦村，玉造町
- 34年 9月 5代所長 中村 卓郎
- 36年 4月 課制施行（総務課，保健予防課，衛生課）3課となる。
6代所長 徳地 清六
- 38年 8月 公衆衛生活動基礎資料を作成
- 41年 8月 7代所長 三橋 昭男
- 42年10月 8代所長 中村 卓郎
- 43年 4月 9代所長 清水 利雄
- 7月 保健婦室設置（平成2年3月廃止）
- 46年 4月 10代所長 館 筆子 兼務
- 47年 6月 公害担当職員配置（平成2年3月廃止）
- 49年11月 現庁舎竣工（4箇所目）
（銚田町銚田1367-3 敷地面積 2,188平方メートル
建築延面積 920平方メートル）

- 昭和51年 3月 11代所長 鈴木 喬
- 56年 6月 食品広域監視班設置（平成2年3月廃止）
- 57年 3月 銚田保健所地域保健医療計画作成
- 6月 12代所長 清水 利雄 兼務
- 11月 冷房設備完成（変電室，冷房装備）
- 60年 4月 13代所長 大和 慎一
- 61年 11月 保健所における総合検診（県民ミニドック）開始
- 平成元年 4月 14代所長 荒木 均
- 2年 3月 努力機関総務部長表彰
（事務改善「県民ミニドック健診名簿管理システム」の推進）
- 4月 課制施行（総務課，衛生課，健康増進課，保健指導課）4課となる。
- 12月 定期職員知事表彰（総合検診「県民ミニドック」の推進）
- 4年 4月 15代所長 藤枝 隆 兼務
- 5年 4月 16代所長 茂手木 甲壽夫
- 6年 4月 保健所再編により管轄区域変更
鹿島郡 - 旭村，銚田町，大洋村
行方郡 - 北浦村，玉造町
総務課内に次長が兼務する地域保健推進室が設置される。
- 17代所長 大和 慎一 兼務
- 7年 4月 18代所長 荒木 均 兼務
- 8年 9月 優生保護相談所が法改正により廃止となる。
- 10年 4月 「県民ミニドック」の廃止
- 10月 茨城県保健医療計画二次保健医療圏の見直しにより，銚田サブ保健医療圏から銚田保健医療圏に独立
- 11年 4月 県では，「衛生部」と「福祉部」が統合され，「保健福祉部」に改編されたことに伴い，出先保健所の課の再編も行われ，当所では総務課内に地域保健推進室が設置されたほか，健康増進課と保健指導課が統合され健康指導課となり，総務課，衛生課を合わせた3課1室となる。
- 12年 4月 19代所長 大野 忠 良
- 14年 4月 20代所長 入江 ふじこ
- 16年 4月 第4次「茨城県保健医療計画」により，銚田保健医療圏と鹿行南部保健医療圏を統合し「鹿行保健医療圏」となる。
- 17年 4月 21代所長 佐藤 正 兼務
- 9月 町村合併により管轄区域変更
行方郡麻生町，北浦町，玉造町が合併し行方市となり，旧麻生町の区域が管轄となる。
- 10月 鹿島郡旭村，銚田町，大洋村が合併し銚田市となり，管轄区域が行方市と銚田市の2市となる。
- 19年 4月 22代所長 湊 孝 治 兼務

2 管内の概況

当所の管轄区域は、行方市と銚田市の2市からなり、県の東南に位置し、東には鹿島灘、西には霞ヶ浦、中央には北浦が広がる水と緑豊かな自然環境と温暖な気候に恵まれた地域であり、そのほとんどが田畑、山林、原野等で占める純農村地帯である。

管内の総面積は約430平方キロメートル、総人口は90,230人(平成22年4月1日現在)で、前年同期に比べ784人(0.86%)減少した。

管内の地勢はほとんどが平坦地であり、平坦な地形と温暖な気候を活かした農業が基幹産業で、メロン、イチゴ、甘藷等の銘柄産地となっており、特にメロンは全国有数の生産地として知られている。また、霞ヶ浦、北浦沿岸地域では、内水面漁業が営まれている。

主な交通機関は、管内を南北に走る鹿島臨海鉄道大洗鹿島線とバス路線に頼っている。

保健衛生に対する住民の意識は、衛生教育の普及等に伴い遂次高まりつつあり、感染症対策や健康づくりを中心とする保健活動も円滑に機能している。特に、旧町村ごとに設置された保健センターによる住民に密着した各種保健活動も定着し、住民の健康づくりに大いに役立っている。

しかし、一方では、管内における生活習慣病の死亡率が県平均を上回っていること、水道の普及率が低いこと等、地域保健をとりまく環境は、なお厳しい状況にある。

また、管内の医療関係施設については、病院4、一般診療所32、歯科診療所31となっており、人口比からみた各医療施設は、いずれも県平均を下回っている状況である。

管内町村人口及び世帯数

(平成22年4月1日現在)

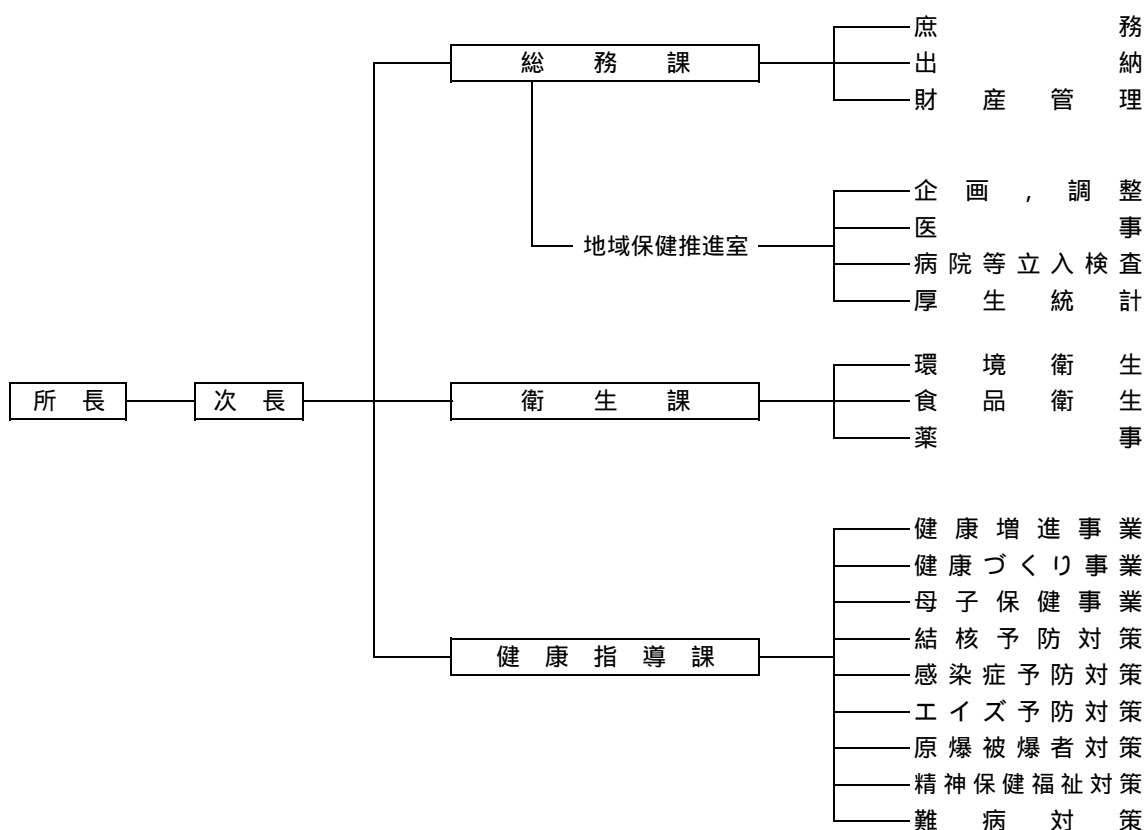
区 分	市 名		
	行 方 市	銚 田 市	計
面 積 (K m ²)	222.38	208.18	430.56
人 口 (人)	38,767	51,463	90,230
男	19,288	25,849	45,137
女	19,479	25,614	45,093
世 帯 数	11,714	17,132	28,846

医療関係従事者及び監視指導対象施設

医療関係従事者(平成20年12月31日現在)					監視指導対象施設数(平成22年4月1日現在)				
医 師	歯 科 医 師	薬 剤 師	保 健 師 助 産 師 看 護 師 准 看 護 師	歯 科 技 工 士 歯 科 衛 生 士	医 療 関 係	薬 事 関 係	環 境 衛 生 関 係	食 品 衛 生 関 係	
								許 可	届 出
54	43	52	435	54	115	370	464	1,718	120

3 機 構

(平成22年4月1日現在)



4 職 員 構 成

(平成22年4月1日現在)

区 分 職 種 別	職 員 数	職 名 別									嘱 託 及 び 臨 時 職 員	
		所長	次長	課長	主査	副主査	係長	主任	主事	技師		
事 務 職	4		1					2	1			2
技 術 職	医 師	1	1									
	獣 医 師	3			1	1		1				
	薬 剤 師	1						1				
	化 学											
	農 芸 化 学											
	診療放射線技師											
	臨床検査技師											
	栄 養 士	1						1				
	保 健 師	5			1			2			2	
小 計	11	1		2	1		5			2		
計	15	1	1	2	1	0	7	1		2	2	
課 別	総 務 課	6	1	1		1		2	1			1
	衛 生 課	4			1			3				
	健 康 指 導 課	5			1			2			2	1
	計	15	1	1	2	1	0	7	1		2	2

5 業務内容

(1) 総務課

- ア) 公印の管守に関する事。
- イ) 所員の身分及び服務に関する事。
- ウ) 所員の研修, 能率及び福利厚生に関する事。
- エ) 文書の收受, 発送及び保存に関する事。
- オ) 会計に関する事。
- カ) 物品等の出納及び保管に関する事。
- キ) 庁舎の維持管理及び取締まりに関する事。
- ク) 県有財産の管理に関する事。
- ケ) 他課の所管に属しない事。

(地域保健推進室)

- ア) 健康危機管理に関する事。
- イ) 病院等立入検査及び医事に関する事。
- ウ) 厚生統計調査に関する事。
- エ) 県保健医療計画の進行管理に関する事。
- オ) 救急医療に関する事。
- カ) 保健医療福祉協議会に関する事。
- キ) 地域ケアシステム推進事業に関する事。
- ク) 地域リハビリテーション支援対策に関する事。
- ケ) 老人保健福祉計画の進行管理に関する事。
- コ) 保健, 福祉, 医療にかかる総合的な相談業務に関する事。
- サ) 医師, 医学生, 看護学生の臨床研修・実習に関する事。
- シ) 保健所ホームページに関する事。

(2) 衛生課

- ア) 環境衛生に関する事。
- イ) 温泉に関する事。
- ウ) 水道法の施行に関する事。
- エ) 一般飲料水の衛生指導に関する事。
- オ) 食品衛生に関する事。
- カ) 理容師, 美容師, クリーニング師, 調理師及び製菓衛生師に関する事。
- キ) 化製場等に関する事。
- ク) 狂犬病発生時の届出の受理に関する事。
- ケ) 薬事及び薬剤師に関する事。
- コ) 毒物及び劇物に関する事。
- サ) 麻薬, 大麻, あへん及び覚せい剤に関する事。

シ) 食鳥処理場の衛生保持の指導監督に関する事。

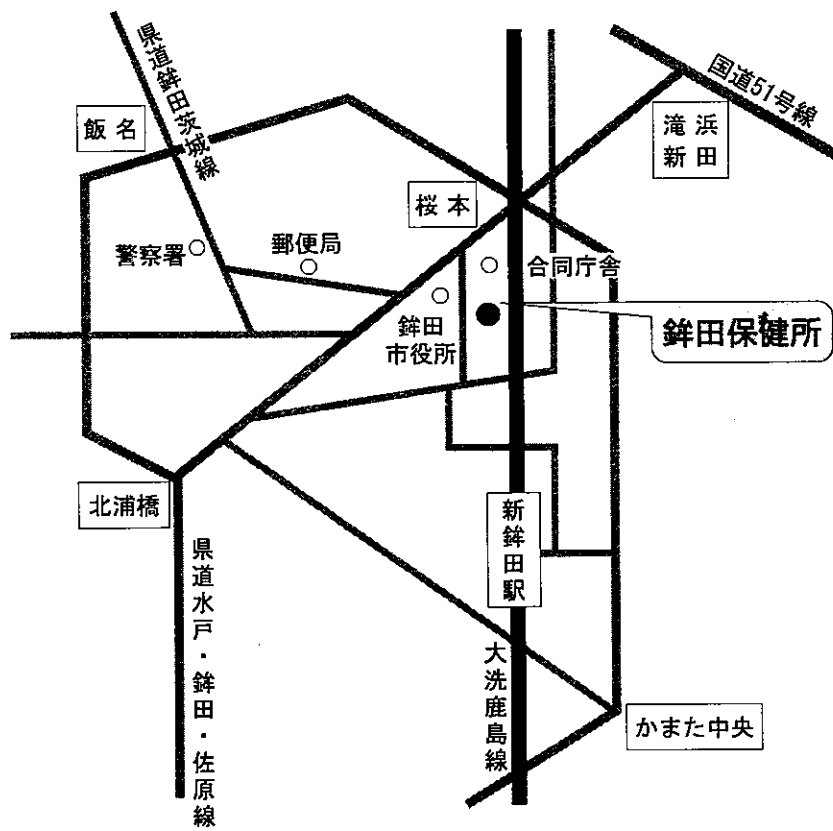
(3) 健康指導課

- ア) 精神保健・福祉に関する事。
- イ) 結核予防に関する事。
- ウ) 感染症の予防に関する事。
- エ) エイズ予防に関する事。
- オ) 予防接種に関する事。
- カ) 難病対策に関する事。
- キ) 原子爆弾被爆者の医療等に関する事。
- ク) がん及び生活習慣病の予防に関する事。
- ケ) 栄養指導及び栄養士に関する事。
- コ) 健康増進法(保健事業)に関する事。
- サ) 歯科保健に関する事。
- シ) 市町村保健センターの指導に関する事。
- ス) 不明疾患等に係る人体影響調査に関する事。
- セ) 母性及び乳幼児の保健に関する事。
- ソ) 母子医療給付に関する事。
- タ) 母体保護に関する事。

6 相 談 ・ 検 査 日

曜 日	行 事 内 容	受 付 時 間
月	水質検査(食品衛生協会扱い)	9:00~11:00
	腸内細菌検査(食品衛生協会扱い)	9:00~11:00
火	エイズ相談・HIV抗体検査・性感染症検査	9:00~10:00
	肝炎ウイルス検査	9:00~10:00
水	精神保健福祉相談(第3):予約制	13:00~15:00

7 位置



第 2 章 平成 21 年度事務事業の執行状況

(平成 22 年 3 月 31 日現在)

第 2 章 平成 21 年度事務事業の執行状況

第 1 節 総務課

1 経理状況

(1) 平成 21 年度 歳 入

(単位 : 円)

科 目 (款)	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	備 考
保健福祉費負担金	309,883	288,459	0	21,424	
保健福祉使用料	12,096	12,096	0	0	
保健福祉手数料	6,130	6,130	0	0	
雑 入	14,903	14,903	0	0	
合 計	343,012	321,588	0	21,424	

(2) 平成 21 年度 歳 出

(単位 : 円)

科 目 (款)	令 達 予 算 額	支 出 済 額	残 額	備 考
総 務 費 ⁽²⁾	2,555,304 円	2,555,304 円	0 円	
保 健 福 祉 費 ⁽⁵⁾	14,262,207	14,262,207	0	
計	16,817,511	16,817,511	0	

2 厚生統計調査

衛生行政政策の基礎資料とするため、それぞれの関係法令に基づき各種統計を集計し報告を行った。

- (1) 病院報告 (患者票)
- (2) 病院報告 (従事者票)
- (3) 医療施設動態調査
- (4) 衛生行政報告例
- (5) 地域保健・健康増進事業報告

参考 1 : 平成 20 年三大死因による死亡の状況

(単位 : 人 , 死亡率 : 人口 10 万人対)

	悪性新生物			心疾患			脳血管疾患			死亡数	
	実数	死亡率	割合	実数	死亡率	割合	実数	死亡率	割合	実数	死亡率
行方市	126	332.1	25.5%	82	216.1	16.6%	72	189.8	14.6%	494	1,302.1
鉾田市	173	349.5	28.6%	108	218.2	17.9%	66	133.3	10.9%	605	1,222.1
管内	299	341.9	27.2%	190	217.3	17.3%	138	157.8	12.6%	1,099	1,256.8
茨城県	7,988	273.3	29.1%	4,357	149.1	15.9%	3,500	119.7	12.7%	27,466	939.7

参考 2 : 平成 20 年人口動態総覧

(単位 : 人)

	出生数						死亡数						
	総数	男	女	出生率 (人口 千人対)	2,500g 未満 (再掲)		総数	男	女	死亡率 (人口 千人対)	乳児 (再掲)		新生児 (再掲)
					男	女					男	女	
行方市	244	114	130	6.4	13	12	494	267	227	13.0	0	0	0
鉾田市	367	190	177	7.4	15	22	605	342	263	12.2	0	0	0
管内	611	304	307	7.0	28	33	1,099	609	490	12.6	0	0	0
茨城県	24,592	12,751	11,841	8.4	1,061	1,289	27,466	14,909	12,557	9.4	32	29	29

(単位 : 人) (単位 : 件)

	死産数			周産期死亡数			婚姻 件数	離婚 件数
	総数	自然	人工	総数	妊娠満 22 週 以降	早期 新生児		
行方市	9	3	6	0	0	0	159	57
鉾田市	20	6	14	3	3	0	213	97
管内	29	9	20	3	3	0	372	154
茨城県	691	295	396	119	100	19	15,866	5,853

3 衛生教育

衛生思想の普及高揚に資するため、各種団体、事業所、学校等が開催する講習会等を積極的に活用し、公衆衛生の啓発に努めるとともに、啓蒙促進を図った。

平成 21 年度衛生教育内容別開催回数及び参加延人員

区 分	感染症	(再 掲)		精 神 難 病	母 子	成人・老人	栄 養 ・ 健 康 増 進	歯 科
		結 核	エイズ					
回 数	10	4			2	1	8	2
延人員	487	172			24	13	548	35

区 分	医事・薬事	食 品	環 境	そ の 他	計	(再 掲)	
						地区組織 活 動	健康危機 管 理
回 数	7	12	2	1	45	4	10
延人員	887	462	68	26	2,550	137	487

4 医 事

当管内における医療関係施設数は、平成 20 年 10 月 1 日現在人口 10 万対比で、病院 4.5 (県平均 6.5) 一般診療所 34.7 (県平均 56.9) といずれも県平均を下回っている。

なお、医療法第 25 条等の規定に基づき、各医療施設の立入検査を実施した。

(1) 医療機関施設数

(平成 21 年 3 月 31 日現在)

区 分 市 名	病 院		一 般 診 療 所		歯 科 診 療 所	助 産 所	施 術 所	歯 科 技 工 所
	施 設	病 床	施 設	病 床				
行 方 市	1	230	15	7	10		18	3
鉾 田 市	3	157	15	41	21	1	27	3
計	4	387	30	48	31	1	45	6

(2) 医療施設・病床数の比較

(平成20年10月1日現在)

(平成20年12月31日現在)

区分	病院		病院病床		一般診療所		歯科診療所		区分	医師		歯科医師	
	実数	人口比	実数	人口比	実数	人口比	実数	人口比		実数	人口比	実数	人口比
保健所	4	4.5	387	433.1	31	34.7	31	34.7	保健所	54	60.4	43	48.1
茨城県	192	6.5	28,440	959.5	1,687	56.9	1,379	46.5	茨城県	4,555	153.7	1,824	61.5

(注) 人口比は人口10万対

(3) 立入検査数

施設 区分	病院	一般診療所	歯科診療所	計
立入検査	4	9	7	20

5 救急医療

救急医療の確保状況については、救急告示医療機関3病院が指定されている。

(1) 救急告示医療機関

(平成22年3月31日現在)

医療機関名	所在地	診療科名	告示年月日	備考
銚田病院	銚田市安房 1650-2	外・内・眼・脳外・整外・皮・肛・小児・胃・耳鼻咽・麻酔	平成 20.12.5	
高須病院	銚田市銚田 2570	外・内・消・耳鼻咽・小児・循・呼・整外・放・糖	平成 20.1.10	
なめがた地域総合病院	行方市井上藤井 98-8	外・内・小児・脳外・整外・皮・泌・産婦・眼・耳鼻咽・麻酔・リハ・放・消・循・アレルギー・リウマチ	平成 22.3.29	

(2) 病院群輪番制の実施

休日及び夜間における重症救急患者に対する医療の確保を図るため、銚田地域内（管内2市及び小美玉市）の3病院（銚田病院、なめがた地域総合病院、小美玉市医療センター（旧・小美玉市国保中央病院））の協力を得て、病院群輪番制を実施している。

6 地域保健推進

(1) 鹿行保健医療福祉協議会

地域における保健・医療・福祉関係者から広く意見を聴取し、地域の実情を踏まえた総合的な保健医療施策を計画的に推進し、健康で安全な地域づくりを推進することを目的とし開催した。

期 日	平成 22 年 2 月 19 日（金）
事 務 局	潮来保健所
場 所	レイクエコー 講座室 2
構 成 員	委員 21 名
議 題	(1)鹿行地域における医療対策について (2)茨城県食の安全・安心推進条例について (3)薬事法改正による一般用医薬品の販売方法について (4)感染症対策について (5)平成 20 年国民健康・栄養調査結果の概要について

(2) 地域リハビリテーション総合支援事業

高齢者や障害者等が寝たきりになることを防止し、より身近な地域で適切なりハビリテーションを受けることのできる体制作りを推進するため、指定機関に対し事業の運営に関する助言及び補助金の交付等を行った。

- ・茨城県指定地域リハ・ステーション：なめがた地域総合病院
- ・補助対象事業：地域リハビリテーション普及促進事業

(3) 地域ケアシステム推進事業

高齢者や障害者等が地域の中で安心して暮らせるよう、要援護者一人ひとりに保健・医療・福祉の関係者がチームを組み、地域全体で総合的に各種サービスを提供し在宅生活を支援していくシステムづくりの推進を図るため、市町村で実施されているサービス調整会議への出席等の支援を行った。

地域ケアシステム会議（サービス調整会議）の参加
管内（行方市） 2回
地域ケアシステムに係る市町村等ヒアリング
平成 22 年 2 月 26 日 銚田合同庁舎

(4) 介護保険制度の推進

県長寿福祉課、各保健所と連携し、研修会運営の協力、市町村等への支援を行った。

介護保険認定調査従事者研修会への協力

	期 日	場 所	備 考
認定調査新規 従事者研修	平成 21 年 5 月 12 日（火）	茨城県健康プラザ	県介護保険室， 県内保健所共催
認定調査員 現任研修	平成 21 年 11 月 9 日（月）	レイクエコー	潮来保健所協力

介護予防支援従事者研修

県介護保険室で主催した研修会の運営に協力した。

介護予防事業担当者研修会

介護予防事業の適正かつ効果的な推進を図るため、潮来保健所が実施する研修会の運営に協力した。

期 日	場 所	内 容	参加者
平成 21 年 11 月 27 日（金）	レイクエコー 講座室 2	講話・実技 「脳と心と体を知ろう！いきいき・はつらつ 介護予防」	65 名
平成 22 年 3 月 12 日（金）	レイクエコー 中研修室	介護予防事業担当者情報交換会	20 名

(5) 臨床研修医師の受け入れ

臨床研修医に対し、地域保健・医療に関する研修を実施した。

病院名	人数	研修期間
なめがた地域総合病院	14名	平成21年4月20日(月)～4月22日(水)(2名) 平成21年5月18日(月)～5月20日(水)(2名) 平成21年6月3日(水)～6月5日(金)(2名) 平成21年7月6日(月)～7月8日(水)(2名) 平成21年8月3日(月)～8月5日(水)(2名) 平成21年10月5日(月)～10月7日(水)(2名) 平成21年11月4日(水)～11月6日(金)(2名)

(6) 医学生実習受け入れ

医学生に対し、公衆衛生及び地域保健に関する実習を実施した。

学校名	人数	実習期間
筑波大学医学専門学群 5年次学生	4名	平成22年1月26日(火)～2月2日(火)

(7) 看護学生実習受け入れ

看護学生に対し、公衆衛生看護に関する実習を実施した。

学校名	人数	実習期間
茨城キリスト教大学看護学部4年次学生	6名	平成21年6月15日(月)～6月17日(水)

(8) 茨城県認知症を知る月間啓発活動

認知症に対する正しい理解の普及を図るため、保健所主催の研修会等でリーフレット配布による啓発活動を行った。

期日	場所	内容	参加者
平成21年 9月24日(木)	鉾田合同庁舎	社会福祉施設等感染症及び食中毒対策研修会での啓発用リーフレット配布	43人
平成21年 9月29日(金)	行方市北浦公民館	心の健康づくり地域啓発推進事業研修会での啓発用リーフレット配布	73人

第2節 衛生課

1 食品衛生

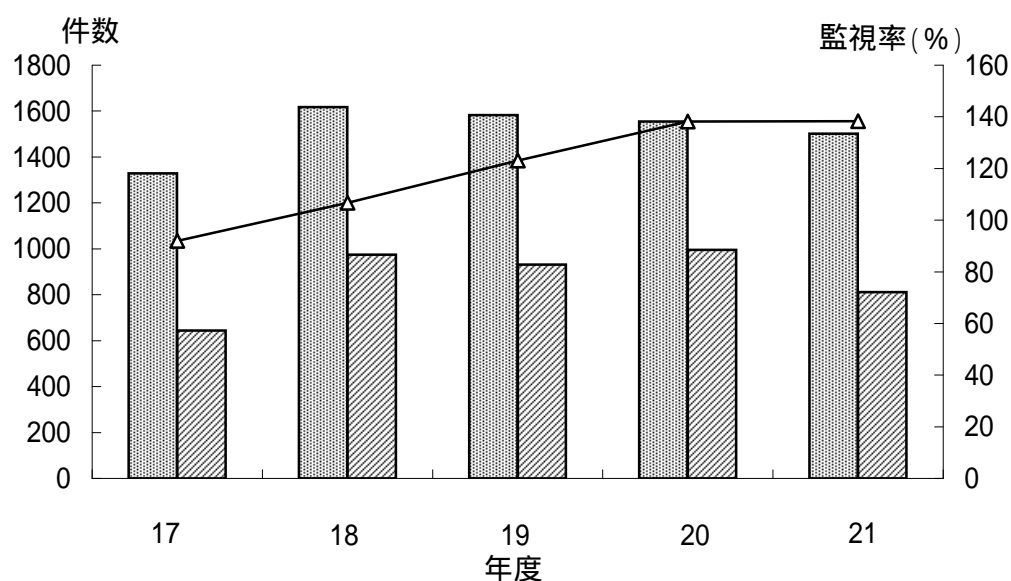
- (1) 食品衛生法及び茨城県食品衛生条例に基づき、食品取扱施設の改善及び食品取扱い等の指導を行った。
また、茨城県食品衛生監視指導計画に従って、監視指導を行い食品衛生の向上を図った。
(別表 , 及び図1)
- (2) 夏期・年末に食品の一斉監視指導を行い、あわせて、食品の収去試験検査を実施し、不良食品の流通防止を図った。
(別表)
- (3) 集団給食施設(学校・病院・社会福祉施設等)への監視指導を行い、併せて、施設器具等のふき取り検査を実施し、給食従事者の衛生意識向上に努めた。
(別表 ,)
- (4) 食品関係営業者の自主衛生管理の強化を図るとともに、食品関係営業従事者等を対象に食品衛生講習会を開催し、食中毒等の発生防止に努めた。
(別表)
- (5) 一般住民や食品営業者等からの食品に係る相談や苦情には、迅速な対応をすることにより食品の安全確保に努めた。
(別表)
- (6) 調理師、製菓衛生師について、試験及び免許事務を行った。
(別表)
- (7) 平成21年10月4日(日) 銚田市銚田総合公園にて、「食品衛生フェア・食の安全安心相談会」を開催し、一般消費者等(約500名)に対し食品表示・食品衛生に関する正しい知識及び情報の提供、食中毒予防の啓発等を行った。
- (8) 平成22年1月に農産物に残留する農薬等に関しての違反事例が発生したため、関係部署と連携して原因調査、生産農家の指導を行い、違反食品の流通防止を図った。

食品衛生法関係食品営業申請許可及び監視指導状況

業種	前年度施設数	申請数				許可数			未許可		廃業数 ウ	現在数 ア+イ-ウ	立入検査 目標回数	立入検査 実施回数	監視率 才/工	改善 命令 件数
		新 前年度 繰越分	新 本年度受 付分	更 前年度 繰越分	更 本年度 受付分	新 規 イ	更 新	新 規	更 新							
飲食店営業	692		100 (56)			47	100 (56)	42	5	95 (56)	697	265	348	131.3		
菓子製造業	79		16 (5)			7	16 (5)	6	1	9 (5)	86	81	77	95.1		
乳処 理 業	1										1	1	3	300.0		
乳製品製造業	1										1	1	3	300.0		
集 乳 業	0										0					
魚介類販売業	141		5			10	5	10		8	138	35	65	185.7		
食品の冷凍又は冷蔵業	11										11	11	10	90.9		
かん、びん詰食品製造業	2										2	2	1	50.0		
喫茶店営業	81		4 (1)			10	4 (1)	10		5 (1)	80	13	12	92.3		
アイスクリーム類製造業	13		4			3	3	1		2	14	5	13	260.0		
乳類販売業	218		5 (1)			21	4 (1)	21	1	18 (1)	204	37	98	264.9		
食肉処 理 業	5		1				1				6	4	7	175.0		
食肉販売業	156		6 (1)			11	6 (1)	11		12 (1)	150	33	81	245.5		
食肉製品製造業	2										2	2	3	300.0		
乳酸菌飲料製造業	1										1	1	3	150.0		
食用油脂製造業	2					1	1	1			2	1	2	200.0		
みそ製造業	5					1	1	1			5	5	1	20.0		
醬油製造業	1										1	1	2	200.0		
ソース類製造業	2		1				1				3	2	5	250.0		
酒類製造業	1										1	1	1	100.0		
豆腐製造業	16					2	2	2		1	15	16	15	93.8		
納豆製造業	2					1	1	1			2	2	1	50.0		
めん類製造業	4										4	4	4	100.0		
そうざい製造業	61		2			3	2	3		1	62	61	52	85.2		
清涼飲料水製造業	2										2	2	4	200.0		
氷雪販売業	3										3	1	1	100.0		
計	1,502	0	144 (64)	0	114	142 (64)	108	2	6	151 (64)	1,493	587	812	138.3		

(注) ()内は、季節的営業を示す(再掲)

図1 食品衛生法関係食品営業施設数・監視件数・監視率推移



	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
施設数	1,329	1,617	1,583	1,555	1,502
監視件数	644	974	931	995	812
監視率	91.9	106.7	123.1	138.2	138.3

(注) 監視率：立入検査実施回数 / 立入検査目標回数

茨城県食品衛生条例関係営業申請及び許可状況

業種	前年度 施設数 ア	申請数				許可数		廃業数 ウ	現在数 ア+イ-ウ	立入 検査 目標 回数工	立入 検査 実施 回数才	監視率 オ/工
		新規		更新		新規 イ	更新					
		前年度 繰越分	本年度 受付分	前年度 繰越分	本年度 受付分							
行商		()				()		()				
販売業	185	6 (2)		21	6 (2)	21	19 (2)	172	32	94	293.8	
製造業	52	2 ()		2	2 ()	2	1 ()	53	51	40	78.4	
計	237	8 (2)		23	8 (2)	23	20 (2)	225	83	134	161.4	

(注) ()内は、季節的営業を示す(再掲)

食品収去検査状況

検査項目 食品分類	収去検体数	不良検体数	不 良 理 由				
			大腸菌群	異 物	添 加 物 使用基準	法 定 外 添 加 物	そ の 他
魚介類	2	0					
魚介類加工品	2	0					
肉卵類及びその加工品	24	0					
野菜類・果物 及びその加工品	24	0					
菓子類	2	0					
酒精飲料	4	0					
その他の食品	4	0					
合 計	62	0					

その他の試験検査

	検査施設数	検査検体数	検査項目		不適検体数	
			一般細菌数	大腸菌群	一般細菌数	大腸菌群
ふきとり検査	4	40	40	40	0	0

集団給食施設指導状況

事 項	区 分				合 計
	学 校	病 院 ・ 診 療 所	事 業 所	そ の 他	
施 設 数	18	4	1	29	52
指 導 回 数	8	4	0	30	38

食品衛生講習会等実施状況

区 分 \ 事 項	食品営業者 講習会	集団給食 従事者講習 会	食品衛生指 導員 研修会	消 講 費 習 者 会	合 計
実施回数	9	2	1		12
講習者数	302	127	33		462

食品衛生相談処理状況

(件数)

腐 敗 変 敗 関 係	1
異 味 異 臭 関 係	3
異 物 混 入 関 係	1
健 康 被 害 関 係	3
従 業 員 の 衛 生 関 係	2
施 設 の 衛 生 関 係	16
表 示 関 係	20
営 業 許 可 関 係	37
そ の 他	20
合 計	103

調理師・製菓衛生師免許申請等状況

調理師免許申請件数	20
〃 書換交付申請件数	2
〃 再交付申請件数	2
調理師試験願書受付数	36
製菓衛生師免許申請件数	3

2 環境衛生

(1) 環境衛生関係営業施設の監視指導を実施し、構造設備及び衛生措置の改善指導をするほか、衛生知識の向上を図るため、従事者に対する衛生講習会を2回(理容従事者59名、海浜地区季節営業者9施設)開催した。また、自主的活動を推進するため、各生活衛生同業組合の育成・強化に努めた。

(別表及び図1、2)

(2) クリーニング師について、免許事務を行った。(別表)

(3) 遊泳用プールの立入検査を実施し、利用者の安全性及び快適性を確保するため、構造設備や衛生措置等の改善指導を行った。(別表)

(4) 家屋内外で発生する多種多様の害虫等の苦情・相談に対して、薬剤の選定・駆除方法を指導した。また、快適な住居生活を確保するため、室内汚染空気化学物質等の相談に対し、適切な指導をした。

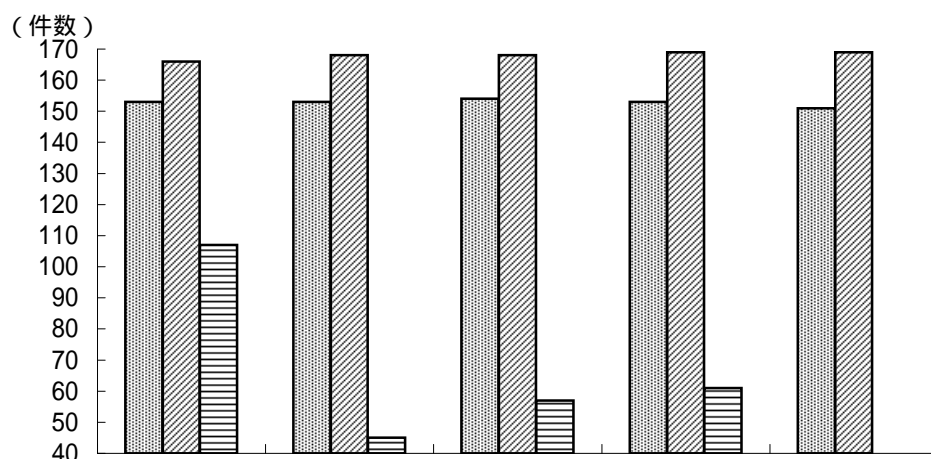
(別表、)

環境衛生関係営業施設及び施設検査指導状況

種 別		区 分	施 設 数			施設検査 延指導件 数	注意改善 等命じた 件 数
			年度当初	開 設	廃 止		
許 可	旅 館	ホ テ ル	3			3	1
		旅 館	40		3	37	30
		簡 易 宿 所	6			6	3
		季節的旅館等	0	3	3	0	3
		興 行 場	1			1	
	浴 場	普 通	0			0	
		そ の 他	20			20	19
	計		70	3	6	67	56
届 出	理 容 所	153	1	3	151	18	
	美 容 所	169	4	4	169	5	
	ク リ ー ニ ン グ 所	62		3	59	43	
	計	384	5	10	379	66	
特 定 建 築 物		8			8		
登 録 営 業 所		3			3	2	
遊 泳 用 プ ー ル		7			7	6	
計		472	8	16	464	130	

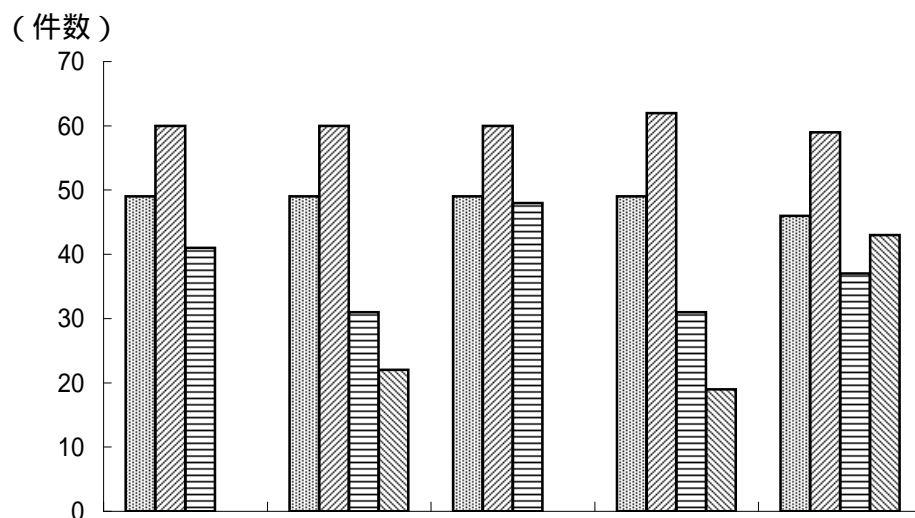
許可・確認前の検査指導件数を含む。

図1 理美容施設と検査指導の推移（年度別）



年 度		17	18	19	20	21
施 設 数	理 容 所	153	153	154	153	151
	美 容 所	166	168	168	169	169
検査指導件数(理・美容所)		107	45	57	61	23

図2 旅館業・クリーニング施設と検査指導の推移（年度別）



年 度		17	18	19	20	21
施 設 数	旅 館	49	49	49	49	46
	ク リ ー ニ ン グ	60	60	60	62	59
検 査 指 導 件 数	旅 館	41	31	48	31	37
	ク リ ー ニ ン グ	0	22	0	19	43

環境衛生関係免許申請状況

	申請	書換	再交付	抹消・返納	計
クリーニング師免許	2	-	-	-	2

衛生害虫等相談状況

相談件数	内 容
9	ゴキブリ2, スズメバチ3, ネズミ1 シロアリ1, ノミ1, ダニ1

住居衛生に関する相談状況

相談件数	内 容
2	シックハウスに関する相談（ホルムアルデヒド 1） 有害化学物質に関する相談（ペンキ臭 1）

3 水 道

管内市に対して、地域住民が安全な飲料水を確保できるよう公営水道施設の促進を図るとともに、各給水施設の水質検査の励行と飲料水の水質保全について指導した。

（別表 ， ）

また、一般飲料水（井戸水）の検査方法や検査結果等の飲用相談に応じている。

水道普及状況

（平成22年3月31日現在）

区分 市 名	施 設 数			行 政 区 域 内 人 口	計 画 給水人口	給水人口	普及率 (%)	
	上水道	簡易水道						専 用 水 道
		公 営	非公営					
行方市	1			38,127	44,130	35,091	92.0	
鉾田市	3			1	50,330	50,370	34,423	68.4
計	4			1	88,457	94,500	69,514	78.6

水道施設指導及び水質検査状況

区分		施設数	指導 延件数
施設種類			
上水道		4	
簡易 水道	公 営		
	非 公 営		
専用水道		1	
簡易専用水道		63	
小規模水道		110	5
小簡易専用水道		29	
計		207	5

(注) 施設数は、平成 22 年 3 月 31 日現在の施設数

3 薬 事

- (1) 薬事法に基づく許認可及び関係施設の監視指導を行い、医薬品の安全性と有効性の確保を図った。
(別表 及び図 1)
薬局開設者、勤務薬剤師対象に、薬事法改正についての講習会を実施した。(2回 延べ 86 名)
- (2) 毒物及び劇物取締法に基づく登録及び関係施設の監視指導を行い、毒物劇物による事故及び危害発生の防止に努めた。
(別表 及び図 2)
- (3) 麻薬及び向精神薬取締法に基づく免許・届出事務及び取締施設の立入調査を行い、麻薬等の適正な取扱について指導を行った。
(別表 ,)
- (4) 不正大麻・けし撲滅運動の一環として、一般住民に対して大麻・けしに関する正しい知識の啓発を行うとともに、不正大麻・けしの発見抜去に努め、18ヶ所 441本のけしの不正栽培を発見抜去した。
- (5) 茨城県薬物乱用防止指導員銚田地区協議会と連携し、薬物乱用防止指導員 13人と共に薬物乱用防止啓発活動を実施した。
 - ・薬物乱用防止教室、講習会開催 対象者：中学生，高校生，一般（保護司等）(5回 801名)
 - ・626 ヤング街頭キャンペーン (平成 21 年 6 月 25 日(木): 銚田市立銚田南中学校)
 - ” (平成 21 年 6 月 29 日(月): 行方市立麻生中学校)
 - ・麻薬・覚せい剤乱用防止運動
(平成 21 年 10 月 4 日(日) 銚田市銚田総合公園 銚田うまかっぺフェスタ`09)
- (6) 茨城県薬剤師会銚田支部と連携し、街頭「薬の相談所」を開設し、薬の正しい知識の普及に努めた。
 - ・街頭「薬の相談所」(平成 21 年 10 月 4 日(日) 銚田市銚田総合公園 銚田うまかっぺフェスタ`09)
- (7) 管内市及び関係機関と連携を図りながら、献血及び骨髄バンク登録の推進に努めた。(別表 ,)
- (8) 温泉源及び温泉利用施設状況。
(別表)

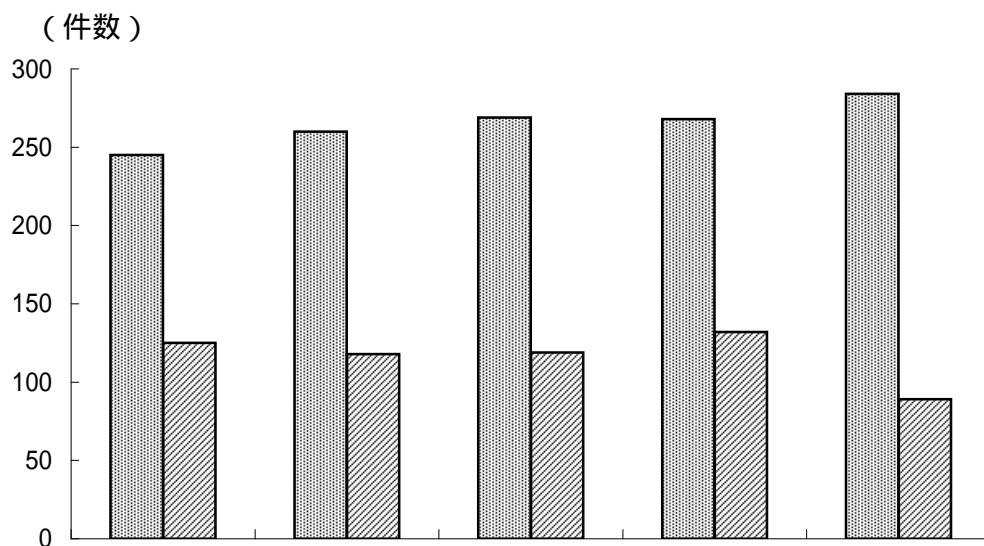
薬事関係許可等及び監視指導状況

業種	区分	年度当初 施設数	許可・届出件数					年度末 施設数	立入検査 施設数
			新規	更新	変更	再交付	書換交付		
薬局		20		3	12			20	43
薬局製剤製造業		5		1				5	6
薬局製剤製造販売業		5		1				5	6
店舗販売業		0	9		9			9	0
卸売販売業		0	1					1	1
一般販売業		9			7		7	2	3
薬種商販売業		11					2	9	10
特例販売業 (第2段階)		4					1	3	1
高度管理医療機器等 販売業		14	1		4		4	11	5
高度管理医療機器等 賃貸業		5	1				1	5	0
管理医療機器販売業		186	23		2		10	199	14
管理医療機器賃貸業		9	6					15	0
計		268	41	5	34		25	284	89

毒物劇物関係登録等及び監視指導状況

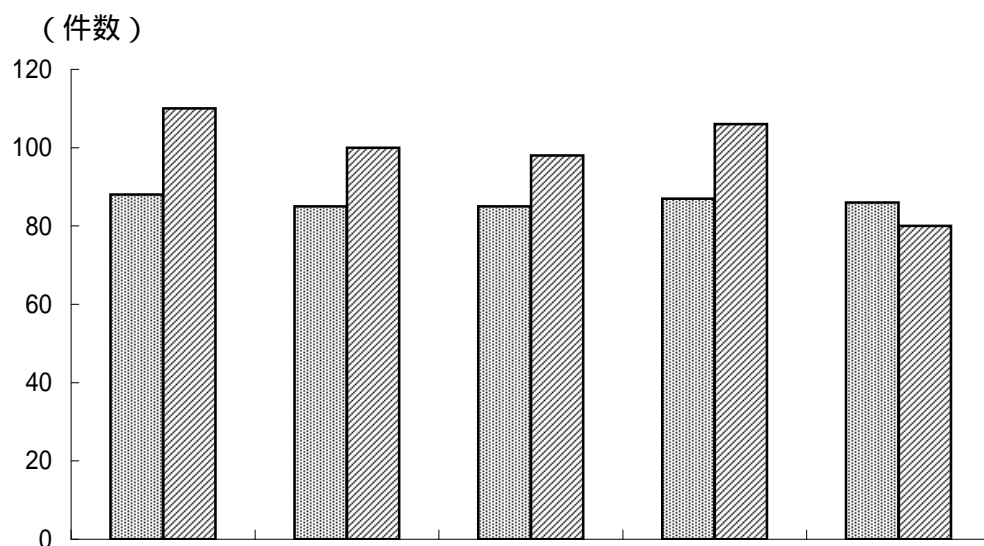
業種	区分	年度当初 施設数	許可・届出件数					年度末 施設数	立入検査 施設数
			新規	更新	変更	再交付	書換交付		
毒物劇物製造業 (知事登録分)		0	1					1	0
毒物劇物 販売業	一般	40	2	4	5			1	41
	農業用品	46	1	5	3			4	43
	特定品目	1							1
計		87	4	9	8			5	86

図1 薬事関係施設数・監視件数（年度別）



年 度	17	18	18	20	21
施 設 数	245	260	269	268	284
監 視 件 数	125	118	119	132	89

図2 毒物劇物関係施設数・監視件数（年度別）



年 度	17	18	19	20	21
施 設 数	88	85	85	87	86
監 視 件 数	110	100	98	106	80

麻薬関係免許申請処理状況

業種	区分		免許者数		申請・届出件数		
	20年度末数	21年度末数	免許	再交付	書換交付	業務廃止	
麻薬管理者	5	6	3				
麻薬施用者	43	44	20		7	3	
麻薬小売業者	10	11	5				
計	58	61	28		7	3	

麻薬関係施設及び立入検査指導状況

業種	区分	年度当初 施設数	新規 施設数	廃止数	年度末 施設数	立入 検査数	廃棄届 件数
麻薬施用機関		23			23	8	2
麻薬小売業		10	1		11	9	1
計		33	1		34	17	3

管内の献血状況

管内市名	項目	実施日数(日)	申込者数(人)	200ml採血者(人)	400ml採血者(人)
行方市		21.5	1,445	259	790
銚田市		23.5	1,378	260	679
計		45	2,823	519	1,469

骨髄バンク登録キャンペーンにおける登録状況

項目	日時	平成21年6月12日(金)	平成22年2月24日(水)
登録者数		14人	9人
開催会場		ベイスシア玉造店	セイミヤモール麻生店

温泉源及び温泉利用状況

	年度当初施設数	開設	廃止	現在数
温泉源	12	0	0	12
温泉利用	23	0	0	23

第3節 健康指導課

1 健康づくり事業

地域住民が、健康で明るく元気に生活できる社会の実現を図るため、健康づくり推進の総合計画である「健康日本21」及び「健康いばらき21プラン」を基本に、地域の健康づくり指導者や食生活改善推進員等との連携のもと、健康づくりの総合的な推進に努めた。

(1) 健康づくり推進事業

ヘルスロード構想推進事業

誰もがいつでも安全にウォーキング等が出来る道として、管内にはヘルスロードが9コース指定されている。

【管内ヘルスロード指定コース：9コース】

コース番号	コース名	所在地	距離	指定年度
45	国道に向かっての往復コース	銚田市	2.7 km	平成14年
46	銚田グリーンロード	銚田市	2.2 km	平成14年
47	一里塚ロードパーク	銚田市	2.7 km	平成14年
48	お達者コース	銚田市	4.2 km	平成16年
49	風と緑を楽しむコース	行方市	2.3 km	平成14年
50	道の駅～高須崎公園周辺	行方市	4.1 km	平成15年
58	北浦ビューコース	行方市	1.4 km	平成16年
59	あそう温泉白帆の湯コース	行方市	2.5 km	平成16年
122	くぬぎの森スポーツ公園周回コース	銚田市	1.5 km	平成17年

(注) コース番号は、県指定コース番号による。

たばこ対策推進員連絡会の開催

期 日	平成21年10月23日(金)
場 所	レイクエコー
内 容	(1) 情報提供「たばこ情報あれこれ」 (2) 情報提供「行政の受動喫煙対策について」 (3) たばこ対策推進員活動状況報告及び意見交換 (潮来保健所と共催)
参 加 者	たばこ対策推進員・市たばこ対策担当者等 合計17名(内10名たばこ対策推進員)

未成年者に対する喫煙防止教育

期 日	平成 21 年 5 月 18 日 (月)
場 所	茨城県立銚田第一高等学校 多目的ホール
内 容	喫煙防止講話「たばこが身体に及ぼす影響について」 講師 銚田保健所 健康指導課員
参 加 者	1 年次生徒 2 8 0 名・職員 1 5 名 合計 2 9 5 名

禁煙・分煙認証制度の登録状況

平成 2 2 年 3 月 末 現 在

区分	禁煙	分煙	公共用 部分禁煙	公共用 部分分煙	合計
施設数	1 2 5	3	3	0	1 3 1

(2) 栄養改善事業

栄養改善指導等

種 別	区 分	栄 養 指 導			その他の指導 (運動・休 養・喫煙等)	計
		生活習慣病	他 の 疾 病	健 康 増 進		
個別指導延人員		0	1	5 8	0	5 9
集団指導延人員		0	0	4 2 7	3 1 2	7 3 9

給食施設指導状況

種 別	区 分	給 食 施 設 管 理 指 導			
		特 定 給 食 施 設		そ の 他 の 給 食 施 設	
		栄養士配置	栄養士未配置	栄養士配置	栄養士未配置
個別指導延施設数		2 1	4	1 5	1
集 団 指 導	回 数	1			
	延施設数	3 9			
	延人員	8 4			

給食施設管理者及び給食業務従事者研修会の開催

期 日	平成 21 年 8 月 24 日 (月)
場 所	レイクエコー
内 容	(1)「給食施設の衛生管理について」 銚田保健所 食品衛生監視員 (2)「給食施設の栄養管理について～最近の話題から～」 銚田保健所 栄養指導員
参 加 者	給食施設管理者・給食業務従事者等 8 4 名

公衆栄養学臨地実習

学校名	学生数	実習期間
茨城キリスト教大学	7名	平成21年8月3日~7日 5日間

栄養士免許・管理栄養士登録申請件数

栄養士免許申請関係	件数	管理栄養士免許申請関係	件数
免許申請	15	免許申請	3
免許証訂正申請	3	名簿訂正・書き換え交付申請	1
免許証再交付申請	0	免許証再交付申請	0

(3) 栄養改善団体の育成

食生活改善推進員活動状況

区分 市名	平成21年度 食生活改善 推進養成人員	食生活改善推進員活動状況					
		推進員 活動人員	集 会		対 話・訪 問		自己学習 (回数)
			回 数	参加人員	回 数	参加人員	
行方市	14	141	177	1,676	462	5,380	661
銚田市	0	234	732	7,832	2,967	6,842	9,655
計	14	375	909	9,508	3,429	12,222	10,316

食生活改善推進員養成講座

期 日	平成21年9月16日(水)	平成21年10月6日(火)
場 所	北浦保健センター	北浦保健センター
内 容	講話「健康日本21」 銚田保健所 健康指導課員	講話「食品の表示について」 銚田保健所 健康指導課員
参 加 者	養成講座受講者 12名	養成講座受講者 14名

(4) 食育の推進

食育支援ネットワーク事業の実施

	1 回	2 回
期 日	平成 21 年 10 月 10 日 (土)	平成 22 年 1 月 15 日 (金)
場 所	ショッピングプラザ ラ・ラ・ルー(潮来市)	銚田保健所
内 容	<p>食育推進関係団体と連携し、体験や相談を交えた住民参加型の「食育推進キャンペーン」を実施した。</p> <p>食生活改善推進団体連絡協議会：郷土料理展示・レシピ配布，食育すごろく，活動展示等</p> <p>茨城県女性農業士会，いきいき女性の会：食育紙芝居実演，食育かるた展示等</p> <p>茨城県栄養士会：食事診断，栄養相談等</p> <p>地域活動栄養士会：骨密度・体脂肪測定及び栄養相談等</p> <p>茨城県歯科衛生士会：口腔内検査，健康相談</p> <p>なめがた農業協同組合：農産物 PR，提供</p> <p>茨城農政事務所：豆運びゲーム，米計量クイズ，食品表示相談等</p> <p>水戸ヤクルト販売：特定保健用食品の提供</p> <p>銚田・潮来保健所：食育アンケートの実施（潮来保健所と共催）</p>	<p>食育支援ネットワーク連絡会の開催</p> <p>(1)講話「楽しい計画策定入門」 講師 独協医科大学公衆衛生学講座 助教 西連地 利己氏</p> <p>(2)情報交換</p>
参 加 者	住民 約 300 名	管内市食育担当課長及び担当・保健所職員 合計 6 名

健康づくり支援店登録状況

平成 22 年 3 月末現在

登録店数	弁当店 1 店
コース別取組状況	栄養成分表示店コース ヘルシーメニュー提供店

(5) がん予防対策の推進

がん予防推進員活動状況

	がん予防 推進員数	がん予防啓発を 行った対象人数
行方市	38	384
銚田市	94	580
計	132	964

(6)女性の健康支援対策事業

女性の健康に関する講習会

期 日	平成 22 年 3 月 8 日 (月)
場 所	行方市北浦保健センター
内 容	講話「健康づくりのために～食生活～」 講師 管理栄養士 杉山 美智子氏
参 加 者	子育てサークルに所属する母親 15名

2 健康増進事業

がん，心臓病，脳血管疾患は，本県の死亡原因の約 6 割を占めており，高齢化の進展に伴い今後ますます増加していくものと予想され，一人ひとりが生活習慣の改善を目指す努力が必要である。市が行う健康増進事業と職域保健の連携を図るため，鹿行保健医療圏地域・職域連携推進協議会を開催した。

(1) 鹿行保健医療圏地域・職域連携推進協議会の開催状況

期 日	場 所	出 席 者	内 容
平成 22 年 2 月 25 日(木)	レイクエコー	協議会委員 13名 代理出席 7名 事務局 4名	(1) 特定健康診査・特定保健指導の実施状況及び 課題について (2) 肝炎対策について (3) 市町村別健康指標について (潮来保健所と共催)

(2) 健康増進事業実施状況

区 分		市 名		行方市	銚田市	計
人 口				39,111	51,463	90,574
健康手帳交付		実交付者数		0	191	191
健康教育	個別健康 教 育	高血圧	延検査回数又は延実施回数	0	2	2
			実人員又は延受講人員	0	6	6
		糖尿病	延検査回数又は延実施回数	0	2	2
			実人員又は延受講人員	0	22	22
		脂質異常症	延検査回数又は延実施回数	0	2	2
			実人員又は延受講人員	0	5	5
		喫 煙	延検査回数又は延実施回数	0	0	0
			実人員又は延受講人員	0	0	0
集 団 健 康 教 育		延検査回数又は延実施回数	53	151	204	
		実人員又は延受講人員	4,055	3,590	7,645	
健康相談	重点健康相談	開催回数		72	36	108
		延参加人員		636	1,520	2,156
	総合健康相談	開催回数		101	90	191
		延参加人員		2,334	3,668	6,002
健康診査	健康診査	対象者数		100	129	229
		実施方 法別受 診人員	集団健診	5	3	8
			個別健診	0	0	0
			訪問健康診査	0	0	0
			介護家族訪問健康診査	0	0	0
	受診率(%)		5.0	2.3	3.5	
	歯周疾 患検診	対象者数		2,073	1,683	3,756
		受診人員		0	32	32
		受診率(%)		0.0	1.9	0.9
	骨粗鬆 症検診	対象者数		1,713	1,364	3,077
		受診人員		262	337	599
		受診率(%)		15.3	24.7	19.5
肝炎ウィ ルス検診	対象者数		384	657	1,041	
	受診人員		241	233	474	
	受診率(%)		62.8	35.5	45.5	
機能訓練	送迎実施	訓練実施延回数		1	0	1
		被訓練 人 員	実人員	16	0	16
			延人員	16	0	16
		送迎の 実施状況	延回数	1	0	1
			延人員	5	0	5
	送 迎 未実施	訓練実施延回数		37	103	140
		被訓練 人 員	実人員	16	11	27
訪問指導	被訓練 人 員		延人員	281	274	555
	対象者数		250	389	639	
	被指導実人員		178	150	328	
	被指導延人員		184	173	357	
年間訪問活動日数		79	114	193		

(注) 年間訪問活動日数は、保健師・看護師・管理栄養士・歯科衛生士・理学療法士・作業療法士・その他が行った回数である。

人口は、平成21年4月1日現在

3 歯科保健事業

第二次茨城県歯科保健計画に基づき、生涯を通じた歯科保健の推進のため、乳幼児から高齢期まで各ライフステージにおける歯科保健対策の充実を図るとともに、8020運動及び6424運動を展開した。

(1) 歯の衛生に関するポスターコンクール

学校別	参加学校	応募者数
小学校の部	32校	365人
中学校の部	4校	19人(作品数16点)
計	36校	384人

県中央審査会提出数 8点

(2) 第29回母と子のよい歯のコンクール

期日	平成21年6月10日(水)
場所	鉾田保健所
参加者	母と子 2組
内容	口腔審査・健康診査を行い、優秀な母と子1組を選出。

(3) デンタルヘルス推進事業

期日	場所	参加者	内容
平成22年 2月24日(水)	身体障害者療護施設 ユーカリの里	障害者支援施設あさひの家及びユーカリの里職員等 15名	(1) 歯科保健指導(講話及び実技) 指導者 歯科衛生士 2名 (2) 情報交換

(4) 市町村歯科連絡研修事業

期日	場所	参加者	内容
平成21年 11月26日(木)	レイクエコー	保育所・幼稚園職員, 歯科保健ボランティア, 市関係職員等 20名	(1) 講話「口腔と全身の関わり～口腔とメタボリックシンドローム・歯周病と生活習慣病について～」 講師 柳沢歯科医院院長 柳沢 秀樹先生 (2) 講話及び体験学習「子供の食育と歯の健康」「口腔機能健康測定(ガム検査・唾液検査)」 講師 茨城県歯科医師会 8020.6424 情報センター 歯科衛生士 藤田 かおり氏 (潮来保健所と共催)

(5) 8020明日のいばらき推進事業

歯科保健ボランティア活動状況

区分 市名	H12～H14年度 養成研修会 受講者(人)	活動状況							
		受診勧奨		歯科保健事業への参画		歯科保健に関する情報提供		その他	
		回数	対象人員	回数	対象人員	回数	対象人員	回数	対象人員
行方市	10	0	0	0	0	0	0	0	0
鉾田市	17	11	20	0	0	4	9	0	0
計	27	11	20	0	0	4	9	0	0

4 母子保健指導

市町村が母子保健法に基づいて実施する母子保健事業に対し適切な支援を行うとともに、各種母子保健事業への助成（補助金・負担金）に関する指導を行った。

また、子どもを安心して産み育てられる環境をつくり、生涯の健康づくりの基礎となる乳幼児期の健康を守るため、市町村母子保健担当職員や教育関係者等を対象に総合母子保健・福祉相談指導事業を行った。

さらに、医療を必要とする未熟児・身体障害児に対する公費負担や不妊治療費への補助を行った。

(1) 妊婦届出の状況

(単位：人)

区分 市名	満11週 以内	満12週 ～19週	満20週 ～27週	満28週 以上	出生後 (再掲)	不詳	計	20歳未満 (再掲)
	行方市	225	17	2	1	(0)	3	248
銚田市	335	32	8	6	(3)		381	(15)
計	560	49	10	7	(3)	3	629	(21)
率 (%)	89.0	7.8	1.6	1.1	(0.5)	0.5	100	(3.3)

(2) 未熟児出生の状況

(単位：人)

区分 年度	1,500g以下	1,501～2,000g	2,001～2,499g	計
17	5	9	55	69
18	6	12	54	72
19	2	5	59	66
20	1	8	42	51
21	6	6	47	59

(3) 母子保健訪問指導・保健指導の状況

(単位：人)

	妊婦		産婦		新生児		未熟児		乳児		幼児		その他		電話相談 延人員
	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	
訪問 指導			20	26	1	1	20	26	2	2	2	2			9
保健 指導			1	1					1	1					

(4) 総合母子保健・福祉相談指導事業

ネットワーク事業により、各関係職員の会議を開催し、保健所管内の母子保健及び児童福祉の推進を図り、連携体制の強化に努めた。

また、子育て支援健康講座により、児童の健康づくりや子育て支援に必要な知識等のスキルアップのための研修を実施し、資質の向上に努めた。

ア 発達相談支援事業

平成20年度まで実施

イ 総合母子保健福祉ネットワーク事業

潮来保健所と共催で母子保健担当者会議、思春期保健担当者会議を開催し、地域の母子保健に関する総合的な評価及び事業の推進を図るとともに、思春期に関わる関係機関の連携強化に努めた。

期 日	場 所	内 容	出 席 者
平成 21 年 7 月 29 日	レイクエコー	会議 母子保健担当者会議（第 1 回） ・各市の母子保健の課題と実施している事業についての情報交換 （EPDSの利用について など） 潮来保健所と共催	保健師，家庭相 談員，母子保健 福祉担当者 15名
平成 21 年 8 月 11 日	レイクエコー	会議，情報交換会 思春期保健担当者連携会議 ・ 思春期教育における活動の現状・内容 ・ 日頃の活動から感じる課題・問題点 ・ 他機関に求めること などの話題提供，情報交換 【話題提供者】 (1) 医療機関の立場から 助産師として考える性教育 白十字総合病院 土屋 さゆり氏 (2) 学校の立場から 思春期教育における活動の状況 鹿島市立大野中学校 荒野 幸子氏 (3) 行政の立場から 性教育？について考える 行方市 山中 節子氏 潮来市における思春期教育の取り組み 潮来市 石川 明子氏 潮来保健所と共催	保健師，教育関 係機関職員（小 学校・中学校養 護教諭，保健指 導主事），病院・ 診療所勤務助産 師 43名
平成 21 年 11 月 4 日	銚田保健所	銚田保健所母子ケースカンファレンス ケース検討 (1) ケースの概要について (2) 情報交換・情報の共有 (3) 各機関の役割について (4) これからの支援について	行方市母子，児 童福祉関係職 員，保健所職員 8名
平成 22 年 3 月 4 日	レイクエコー	会議 母子保健担当者会議（第 2 回） 保健所，各市の母子保健実施状況，情報交換 【情報交換内容】 ・ 1歳6ヶ月健診，3歳児健診の未受診者対策について ・ 乳幼児全戸訪問，養育支援事業について ・ 「すこやか親子21」の今後の取り組みについて 潮来保健所と共催	保健師，母子保 健福祉担当者 10名

ウ 子育て支援健康講座事業

子育て支援に従事する地域の関係者や教諭等に対して、優先度が高いと考えられる課題を取り上げること
で、地域において子どもの健康を支える環境づくりや子育て支援の体制づくりに役立てることができた。

【開催状況】

期 日	場 所	対 象 者	人 数	内 容	実施方法	講師等（職種）
平成 21 年 7 月 13 日 (水)	銚田保健所	保健師	6 名	子どもの気になる行動確認マニュアルについて	講演	銚田保健所 佐川 廣子 (保健師) 片山 瞳 (保健師)
平成 21 年 9 月 18 日 (月)	レイクエ コー	保健師, 教育 関係機関職員 (小学校・中 学校養護教 諭, 保健指導 主事), 市町 村児童福祉母 子保健担当者	43 名	児童思春期保健研修会 講演 1 「思春期の子どもの心のケア～日常の 診療から～」 講演 2 「親子を地域で支えるネットワークに ついて～臨床の現場から～」	講演	県立友部病院 児童思春期部長 清水 文雄氏 (医師) いはらき思春期保 健協会 井川 三千子氏 (カウンセラー)
合 計 人 数			49 名			

(5) 児童虐待未然防止のための親支援グループミーティング事業

育児不安を抱える母親や母子関係に何らかの困難を抱えている母親等に対して、各々が抱える問題を語る場を提供し、仲間づくりや個々の事情に応じた支援等を行うことにより、適切な育児への動機付けと精神的な安定を図り、もって児童虐待リスクの軽減と予防を図ることを目的とする。

育児不安の強い親向けグループミーティング事業
開催状況

実施日	場所	協力市町村名 ミーティング 名称	内容
平成 21 年 5 月 ～ 平成 22 年 3 月 1 回 / 月	行方市北浦 保健センタ ー	行方市 おはなし会	事前ミーティング, グループミーティング, アフターミ ーティングの実施 ・ 参加者の育児ストレス, 家庭環境でのストレスの軽減 ・ 家族との距離のあるつきあい方の支援 ・ 巻き込まれたりして不快にならないよう自分の感情 をコントロールできるように支援
平成 21 年 10 月～平成 22 年 3 月 1 回 / 月	銚田市銚田 保健センタ ー	銚田市 オレンジルーム	

参加人数

市町村名等	対象者数	実人数	延人数	1 回あたり平均人数
行方市：母親	10	4	10	1.1
行方市：乳幼児	14	8	11	1.1
銚田市：母親	7	5	11	2.2
銚田市：乳幼児	8	5	12	2.4

(6) 不妊治療費補助事業

医療保険が適用されず、高額な医療費がかかる特定不妊治療に要する費用の一部を助成し、不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図った。

申請件数	交付件数
28	28

(7) 小児慢性特定疾患治療研究事業

小児慢性特定11疾患患者に対し、適正な医療費の公費負担事務を行った。

小児慢性特定疾患受給者数

(平成22年3月31日現在)

疾患名	行方市	銚田市	計
1 悪性新生物	7	3	10
2 慢性腎疾患	6	6	12
3 慢性呼吸器疾患	8	10	18
4 慢性心疾患	12	9	21
5 内分泌疾患	9	12	21
6 膠原病	1		1
7 糖尿病	6	5	11
8 先天性代謝異常		1	1
9 血友病等血液・免疫疾患	3	2	5
10 神経・筋疾患	1		1
11 慢性消化器疾患		1	1
計	53	49	102

(8) 長期療養児療育支援事業

慢性疾患にかかっていることにより長期にわたり療育を必要とする児について、適切な療育を確保するために状況に応じた適切な療育指導を行い、長期療養児の日常生活における健康の保持増進および福祉の向上を図る目的で実施した。

1. 個別相談会

講演会と同時開催したが、参加者がなかった。

2. 患者・家族教室

家族教室

事項	参加人数				内 容	
	親	本人	その他	合計		
講演会	0	0	12	12	開催日時	平成21年11月16日(月)午後2時00分～
					場 所	銚田保健所
					講 演	若年者の糖尿病 ～日常生活管理と心構えについて～
					講 師	前田病院 腎糖尿病内科部長 前田伸樹氏
講演会	0	0	9	9	開催日時	平成21年12月3日(木)午後1時00分～
					場 所	銚田保健所
					講 演	小児 型糖尿病食事療法について
					講 師	筑波大学附属病院 病態栄養部 藤原剛司氏

ピア相談会 講演会と同時開催したが、参加者がなかった。

(9) 育成医療給付件数

身体上に障害を有する児童に対し、指定育成医療機関において生活能力を得るために必要な医療の給付を行った。
(単位：件)

疾患名	行方市	銚田市	計
肢体不自由	3	1	4
視覚障害		1	1
聴覚平衡機能障害	1		1
音声・言語そしゃく機能障害	1	7	8
心臓機能障害	1	1	2
腎機能障害	1	1	2
その他の先天性内臓障害			
人免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害			
計	7	11	18

(10) 未熟児養育医療給付件数

未熟児に対し、指定養育医療機関において必要な医療の給付を行った。

(単位：件)

出生時の体重	行方市	銚田市	計
1,000g 以下	1		1
1,001g 以上 1,500g 以下	1	3	4
1,501g 以上 1,800g 以下	1	2	3
1,801g 以上 2,000g 以下	3	1	4
2,001g 以上 2,300g 以下	1		1
2,301g 以上 2,500g 以下		1	1
2,501g 以上			
計	7	7	14

5 精神保健福祉対策

精神保健福祉対策については、「茨城県精神障害者社会復帰促進計画」に基づき、精神障害者の自立と社会復帰の促進を図るとともに、その家族への啓発等を含めた支援及び地域の支援者に対する知識の普及啓発に努めた。

なお、県内の精神科救急医療体制については、平日昼間に保健所で実施されている通報処理業務に加え、平成19年度より県立友部病院内に設置された救急コールセンターが休日夜間の警察官通報及び一般救急医療相談窓口を24時間365日対応することとなった。

(1) 精神クリニック (単位：件)

開催日	場所	開催日数	相談者(実)	相談者(延)
毎月第3水曜日	鉾田保健所	12	11	14

(2) 医療保護入院・退院届出状況(法第33条関係) (単位：件)

病名	区分 市名	医療保護入院			医療保護退院		
		行方市	鉾田市	計	行方市	鉾田市	計
統合失調症		5	20	25	6	18	24
躁うつ病			2	2		6	6
脳器質性 精神障害	認知症	4	1	5	8	3	11
	その他	1		1		1	1
中毒性 精神障害	アルコール	1		1	1		1
	その他						
心因反応							
てんかん		1		1			
その他		8	10	18	5	8	13
計		20	33	53	20	36	56

(3) 措置入院件数 (単位：件)

区分	鉾田保健所対応 (平日昼間)	精神保健福祉センター (夜間休日の対応)	計
行方市	0	0	0
鉾田市	3	1	4
その他	0	0	0
計	3	1	4

(4) 通報処理状況(鉾田保健所処理分)

通報内容内訳

(単位:件)

区分	通 報 内 容						計
	23条 (一 般)	24条 (警察官)	25条 (検察官)	26条 (矯正施設)	26条の2 (精神病院)	27条2項 (申請通報の ない場合)	
行方市		1		2			3
鉾田市		9		2			11
その他			1				1
計		10	1	4			15

処理状況内訳

(単位:件)

区分	処 理 状 況														計
	23条		24条		25条		26条		26条の2		27条2項				
	診察不要	要診察	診察不要	要診察	診察不要	要診察	診察不要	要診察	診察不要	要診察	診察不要	要診察			
	要措置	措置不要	要措置	措置不要	要措置	措置不要	要措置	措置不要	要措置	措置不要	要措置	措置不要			
行方市			1				2								3
鉾田市			1	4	4		1	1							11
その他						1									1
計			2	4	4	1	3	1							15

措置診察不要件数の内訳

(単位:件)

通報内容	通報件数	診察不要 件数	診 察 不 要 件 数 内 訳			
			医療保護入院	任意入院	通 院	そ の 他
23条						
24条	10	2	1			1
25条	1	1				1
26条	4	3			3	
26条の2						
26条2項						
合 計	15	6	1		3	2

(5) 社会適応訓練事業実施状況

訓練人員 : 0人
登録事業所 : 4箇所

(6) 精神障害者保健指導状況

(単位:件)

区 分	訪 問	面 接	電 話
件 数	39 / 79 (実/延)	119	272

(7) 精神障害者の明るいくらし促進事業

アルコール関連問題等地域研修会

期 日	場 所	内 容	参加者	人数
平成21年9月29日	行方市北浦公民館	テーマ「アルコール依存症からの回復までの体験及び断酒会活動について」 講師:茨城県断酒友の会	民生委員等	72名

(8) 児童・思春期地域連絡会議

期 日	場 所	内 容
平成22年1月29日	鉾田保健所	事例検討

(9) ひきこもり支援に係る事例検討会

期 日	場 所	内 容	参加者
平成21年10月30日	鉾田合同庁舎 会議室	1. 講演「ひきこもりの理解と対応」 講師:湯原病院 内田 薫医師 2. 講演「ひきこもりへの支援」 講師:NPO 法人すだち カウンセラー 石黒 澄子氏	学校教諭(小・中学校),市教育委員会職員、市母子保健・児童福祉担当職員,家庭児童相談員,児童委員等:25名

6 結核・感染症・エイズ予防・難病対策

(1) 結核予防対策

結核定期健康診断の受診率の向上を図るとともに、院内・施設内感染の防止、結核患者の早期発見及び結核予防法に基づく公費負担制度の適正化等の事業を実施し、感染予防と患者管理に努めた。

結核健康診断

(単位：人)

区 分		対 象 施設数	対象者	受診者	受診率 (%)	ツ反実 施者数	QFT検査 実施者数	間接撮 影者数	直接撮 影者数	患 者 発見数	潜在性結 核感染症
定期 健診	事 業 者	129	2,356	2,312	98.1			959	1,353		
	高等学校	5	1,022	1,019	99.7			1,019			
	施 設 長	10	492	475	96.5			104	371		
	市	2	15,287	5,937	38.8			5,937			
	内 訳	一般住民 (65歳以上)		20,937	5,937			28.4	5,937		
	一般住民 (その他)										
接触者健診			130	124	95.4	7	21	73	55		1

現在登録患者年齢階級別

(平成21年12月31日現在)

(単位：人)

区分 階級別	総数	活動性結核								不活動性結核	活動性不明	(別掲) 潜在性結核感染症	
		総数	肺結核活動性					肺外結核活動性	治療中			観察中	
			総数	登録時喀痰塗抹陽性			登録時菌陽性その他						登録時菌陰性その他
				総数	初回治療	再治療							
総数	26	6	6	4	3	1	1	1	0	20	0	(0)	(10)
0～4歳													
5～9歳													
10～14歳													(1)
15～19歳													(1)
20～29歳	1									1			(2)
30～39歳	6	2	2	1	1			1		4			(1)
40～49歳	1									1			(2)
50～59歳	8	2	2	1	1		1			6			(3)
60～69歳	1									1			
70歳以上	9	2	2	2	1	1				7			
年齢不詳													
(再掲)80歳以上	5	2	2	2	1	1				3			

現在登録患者受療状況

(平成21年12月31日現在)

(単位：人)

区分 項目	総数	活動性結核								不活動性結核	活動性不明	(別掲) 潜在性結核感染症	
		総数	肺結核活動性					肺外結核活動性	治療中			観察中	
			総数	登録時喀痰塗抹陽性			登録時菌陽性その他						登録時菌陰性その他
				総数	初回治療	再治療							
総数	26	6	6	4	3	1	1	1	0	20	0	(0)	(10)
入院中	1	1	1	1	1								
外来治療中	5	5	5	3	2	1	1	1					
治療なし	20									20			(10)
不明													

現在登録患者公費負担区分

(平成21年12月31日現在)

(単位：人)

区分 項目	総数	活動性結核								不活動性結核	活動性不明	(別掲) 潜在性結核感染症	
		総数	肺結核活動性					肺外結核活動性	治療中			観察中	
			総数	登録時喀痰塗抹陽性			登録時菌陽性その他						登録時菌陰性その他
				総数	初回治療	再治療							
総数	26	6	6	4	3	1	1	1	0	20	0	(0)	(10)
法37の2条	5	5	5	3	2	1	1	1					
法37条	1	1	1	1	1								
不承認													
その他適応なし	20									20			(10)

新登録患者受療状況

(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

(単位：人)

区分 項目	活動性結核								(別掲) 潜在性結核感染症
	総数	肺結核活動性						肺外結核活動性	
		総数	登録時喀痰塗抹陽性			登録時菌陽性その他	登録時菌陰性その他		治療中
		総数	初回治療	再治療					
総数	10	9	5	5	0	2	2	1	0
入院	6	6	5	5		1			
外来治療	4	3				1	2	1	
治療なし									
不明									

新登録患者公費負担区分

(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

(単位：人)

区分 項目	活動性結核								(別掲) 潜在性結核感染症
	総数	肺結核活動性						肺外結核活動性	
		総数	登録時喀痰塗抹陽性			登録時菌陽性その他	登録時菌陰性その他		治療中
		総数	初回治療	再治療					
総数	10	9	5	5		2	2	1	(0)
法37の2条	4	3				1	2	1	
法37条	6	6	5	5		1			
不承認									
その他適応なし									

感染症診査協議会(結核部会)：月1回(第3金曜日)潮来保健所と合同開催

結核患者登録状況

(平成21年12月31日現在)

(単位：人)

区分		市名	行方市	銚田市	計
新登録患者数(「潜在性結核感染症」除く)			7	3	10
登録患者数	活動性肺結核		4	2	6
	活動性肺外結核		0	0	0
	不活動性結核		11	9	20
	活動性不明		0	0	0
	計		15	11	26
別掲	潜在性結核感染症		4	6	10

結核患者保健指導状況

(単位：件)

区分	訪問	面接	電話
件数(実/延)	21/52	7/8	46/269

予防接種実施状況

区分		市名		行方市	銚田市	計
破傷風混合	第1期	初回接種	第1回	272	410	682
			第2回	265	395	660
			第3回	269	418	687
			追加接種	246	423	669
		第2期		353	475	828
ポリオ	第1回			219	428	647
	第2回			197	399	596
B	C	G		261	362	623
麻しん					1	1
風しん					1	1
麻しん・風しん混合第1期				229	386	615
麻しん・風しん混合第2期				247	385	632
麻しん・風しん混合第3期				350	388	738
麻しん・風しん混合第4期				302	375	677
日本脳炎	第1期	初回接種	第1回	38	8	46
			第2回	29	7	36
			追加接種	5	2	7
		第2期		3	2	5
		第3期				
インフルエンザ				6,347	7,586	13,933

日本脳炎ワクチンについては、2005年5月30日以降、積極的勧奨が差し控えられていましたが、2010年4月1日より3歳児への初回接種について、積極的な勧奨が再開されています。

	接種対象年齢																						
	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	
	(平成21年3月31日現在)																						
ポリオ(2回)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
DPT期	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
DT期															■	■							
麻しん(はしか)				1期					2期							3期						4期	
風しん				1期					2期							3期						4期	
日本脳炎				1期初回	■	■	■	■	1期追加			■	■	■	2期								
BCG																							
<p>上の表の ■ および □ の期間は、予防接種法で定められた予防接種の期間です。これらの期間中であればいつでも接種可能ですが、病気にかかりやすい年齢を考慮して定められた時期(標準的な接種年齢)である ■ の期間中にできるだけ接種を受けましょう。</p> <p>麻しん、風しんの3期・4期については平成20年4月～5年間</p>																							

(2) 感染症対策

「感染症の予防及び感染症の患者に対する治療に関する法律」に基づき、感染症の発生防止と緊急時における迅速な対応を図るため感染症サーベイランスによる情報収集・解析を行い感染症情報の早期把握と関係機関への情報提供に努めた。

新型インフルエンザ発生に伴い、発熱相談センターを設置し、住民等からの相談や医療機関の調整を行った。相談体制の強化や疫学調査の実施及び医療機関等への情報提供等を行い感染拡大防止に努めた。

感染症予防法による届出

疾患名	件数
つつが虫	1
梅毒	2
新型インフルエンザ(A/H1N1)	19

社会福祉施設等巡回指導実施結果

区分	指導件数
児童福祉施設	12
知的障害者施設	1
身体障害者施設	1
老人福祉施設	8
介護老人保健施設	0
その他	
合計	22

感染症発生動向調査

感染症発生動向調査患者定点医療機関

STD定点	曾内科クリニック	疑似症定点	なめがた地域総合病院
内科定点	高須病院		高須病院
(インフルエンザ定点)	たきもとクリニック		銚田病院
小児科定点	高須病院		樺山診療所
(インフルエンザ定点)	なめがた地域総合病院		たきもとクリニック
	樺山診療所		根本皮膚科医院
基幹定点	なめがた地域総合病院		曾内科クリニック

STD定点

疾患名	患者数
性器クラミジア	1
性器ヘルペス	
尖形コンジローム	
淋菌感染症	1

インフルエンザ定点

疾患名	患者数
インフルエンザ	2451

小児科定点

疾患名	患者数
RSウイルス感染症	
咽頭結膜熱	33
A型溶血性レンサ球菌咽頭炎	30
感染症胃腸炎	133
水痘	36
手足口病	14
伝染性紅斑	13
突発性発疹	15
百日咳	1
ヘルパンギーナ	6
流行性耳下腺炎	60
急性出血性結膜炎	
流行性角結膜炎	

(3) エイズ・性感染症予防対策

HIV感染症の多くは、異性間の性的接触という日常的な感染経路によるもので増加傾向にある。そこで、当所は幅広い年齢層を対象にエイズキャンペーンを実施し、エイズについての正しい知識の普及啓発に努めた。また、定期的にエイズ相談窓口の開設や抗体検査等を行い、性感染症（クラミジア・梅毒）の相談及び検査も併せて実施し、エイズを含む性感染症の予防対策に努めた。

正しい知識の普及・啓発

実施日	会場	内容	成果及び改善点	対象	参加数
H21.10.3	銚田総合公園	銚田市産業祭「うまかっぺフェスタ in21」にて「エイズ予防街頭キャンペーン」を実施 保健所検査広報，啓発物資及びパンフレットの配布	幅広い年齢層に対して，HIV や性感染症について再認識してもらい，検査を受ける必要性や方法を普及することができた。	来場者 約 17,350 人	(配布部数) 検査日程カード 600 枚 パンフレット等 200 部
H21.11.14	県立銚田農業高等学校 農場	「エイズ予防街頭キャンペーン」 情報スペースにおいてパネルの掲示，保健所検査広報，啓発物資及びパンフレットの配布	広い年齢層に対して，茨城県内の HIV や性感染症の発生状況を伝えることで，検査の必要性や性感染症への理解を促すことができた。 世界エイズデーに近い日に行うことで，キャンペーン実施後の検査件数の増加がみられた。	入場者 約 1,810 名	(配布部数) 検査日程カード 400 枚 パンフレット等 160 部 手提げ型クリアファイル 70 部 レッドバンド 100 個 その他啓発グッズ 150 個

相談体制の充実

エイズ・性感染症相談実施状況

(単位：件)

	エイズ			クラミジア			梅毒		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
電話	15	14	29	10	15	25	0	0	0
来所	17	13	30	16	11	27	16	11	27
計	32	27	59	26	26	52	16	11	27

検査体制の充実

HIV・クラミジア・梅毒抗体検査実施状況（毎週火曜日実施）

(単位：件)

区分	HIV	クラミジア	梅毒
男	16	16	14
女	13	11	11
計	29	27	25

(4) 肝炎対策

肝炎に関する相談や検査を実施し，不安の軽減に努めた。また，平成20年4月よりインターフェロン治療に対する助成を開始した。

B型肝炎相談実施状況

(単位：件)

区分	男	女	計
電話	0	2	2
来所	15	9	24
計	15	11	26

C型肝炎相談実施状況

(単位：件)

区分	男	女	計
電話	25	18	43
来所	19	12	31
計	44	30	74

肝炎ウイルス検査実施状況

区分	実施件数
男	15
女	10
計	25

インターフェロン治療助成受給者状況

(単位：人)

(平成22年3月31日現在)

区分	B型肝炎	C型肝炎	計
行方市	0	35	35
銚田市	0	36	36
計	0	71	71

(5) 難病対策

原因が不明で治療の確立していない難病のうち56の一般特定疾患について、患者の医療費の負担軽減を図るため、公費負担事務を行った。

また、難病患者の相談・支援体制整備として、公費負担制度申請時に面接相談及び、必要時保健師による訪問等の保健指導を行い、さらに難病医療相談事業による講演会を開催し、在宅におけるリハビリの実際の普及及び患者同士の情報交換等の場づくりに努めた。

一般特定疾患受給者証交付者数

(平成22年3月31日現在)

疾病名	行方市	銚田市	計
1 ベーチェット病	1	6	7
2 多発性硬化症	5	4	9
3 重症筋無力症	3	4	7
4 全身性エリテマトーデス	22	19	41
5 スモン			
6 再生不良性貧血	2	6	8
7 サルコイドーシス	2	4	6
8 筋萎縮性側索硬化症	1	6	7
9 強皮症・皮膚筋炎及び多発性筋炎	9	13	22
10 特発性血小板減少性紫斑病	10	11	21
11 結節性動脈周囲炎	3	4	7
12 潰瘍性大腸炎	23	34	57
13 大動脈炎症候群		3	3
14 ビュルガー病		1	1
15 天疱瘡		3	3
16 骨髄小脳変性症	12	4	16
17 クロニン病	6	7	13
18 難治性の肝炎のうち劇症肝炎			
19 悪性関節リウマチ	2	1	3
20 パーキンソン病関連疾患	28	30	58
21 アミロイドーシス			
22 後縦靭帯骨化病	3	15	18
23 ハンチントン舞蹈病	1		1
24 モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	1	4	5
25 ウェゲナー肉芽腫症			
26 特発性拡張型(うっ血型)心筋症	4	5	9
27 多系統萎縮症	3	4	7
28 表皮水疱症(接合部型及び栄養障害)			
29 膿疱性乾癬			
30 広範脊柱管狭窄症			
31 原発性胆汁性肝硬変	1	12	13
32 重症急性性膵炎	2		2
33 特発性大腿骨頭壊死症	3	3	6
34 混合性結合組織病	1	4	5
35 原発性免疫不全症候群	1		1
36 特発性間質性肺炎	1	3	4
37 網膜色素変性症	3	11	14
38 プリン病	1		1
39 原発性肺高血圧症	1	1	2
40 神経組織腫症	1	1	2
41 亜急性硬化性全脳炎			
42 バット・キアリ症候群			
43 慢性血栓栓性肺高血圧症	2		2
44 ライソゾーム病(ファブリー病)			
45 副腎白質ジストロフィー			
46 家族性高コレステロール血症			
47 脊髄性筋萎縮症			
48 球脊髄性筋萎縮症			
49 慢性炎症性脱髄性多発神経炎			
50 肥大型心筋症			
51 拘束型心筋症			
52 ミトコンドリア病			
53 リンパ管筋腫症(LAM)			
54 重症多形滲出性紅斑(急性期)			
55 黄色靭帯骨化症	1	1	2
56 間脳下垂体機能障害			
合計	159	224	383

特定疾患患者保健指導状況

区 分	訪 問	面 接	電 話
一般件数(実/延)	4 / 6	367 / 389	281 / 292

難病医療相談事業

期 日	場 所	内 容	対 象 者	人数
平成21年10月9日(金)	銚田市旭保健センター 多目的室	講義「一日を過ごすヒケツ！」 体操「自主トレ体操のヒケツ！」 講師： 老人保健施設 春の場所 作業療法士 木植 宏美 氏 神栖ケアサポートセンター 作業療法士 中川 明 氏	パーキンソン病の当事者及び家族等	13人
平成21年10月19日(月)		講義「一日を過ごすヒケツ！」 体操「飲み食い体操のヒケツ！」「自主トレ体操のヒケツ！」 講師： 老人保健施設 春の場所 作業療法士 木植 宏美 氏 神栖ケアサポートセンター 作業療法士 中川 明 氏		11人

在宅療養支援計画策定・評価事業
 平成21年度 実施なし

7 原子爆弾被爆者対策

原子爆弾の被爆者に対し、指定医療機関において年2回の一般定期健康診断と希望者に対するがん検診の実施及び各種手当の給付事務を行うとともに、被爆者の高齢化に伴い心の健康づくり等の保健指導に努めた。

(1) 定期健康診断（年2回）

（単位：人）

区分	実施月	対象者	受診者	肝機能検査	要精密検査者	異常なし	未受診者	交通手当受給者
1回目	6月	6	5	5	2	3	1	1
2回目	12月	6	4	4	1	3	1	1

(2) 精密検査（第1回定期健診で要精密検査となった者に対して実施）

（単位：人）

対象者	受診申込	受診者	要医療	交通手当受給者
2	0	0	0	0

(3) 希望による検診

（単位：人）

	対象者	項目別受診者数（延人員）							交通手当受給者
		胃がん	肺がん	乳がん	子宮がん	大腸がん	多発性骨髄腫	一般検査	
受診者数	6	1	0	0	0	0	1	0	1
要精密検査者	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(4) 各種手当の給付件数

（平成22年3月31日現在）（単位：人）

	医療特別手当	特別手当	原子力爆弾小頭症	健康管理手当	保健手当	介護手当	埋葬料	計
受給者数	1	0	0	5	0	0	0	6

第4節 新型インフルエンザ

1 新型インフルエンザ連絡会議の開催

回数：7回

参加団体：行政，医療機関，検疫所，医師会，人工透析施設等

2 発熱相談センター相談件数（実数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4	107	60	86	86	80	149	211	43	13	3	0	842

3 発熱外来の設置状況

管内3医療機関に設置

発熱外来受診者数：10名（7月23日まで）

4 医療機関に対する支援状況

発熱外来協力医療機関に対する設置運営費の補助（3医療機関）

5 入国者への健康監視数(モニタリング数)

23名（実数）

6 新型インフルエンザ発生届数（7月23日まで）

確定患者	疑似患者	合計
5	14	19

7 PCR検査実施数（7月～3月）

陰性	陽性	合計
6	36	42

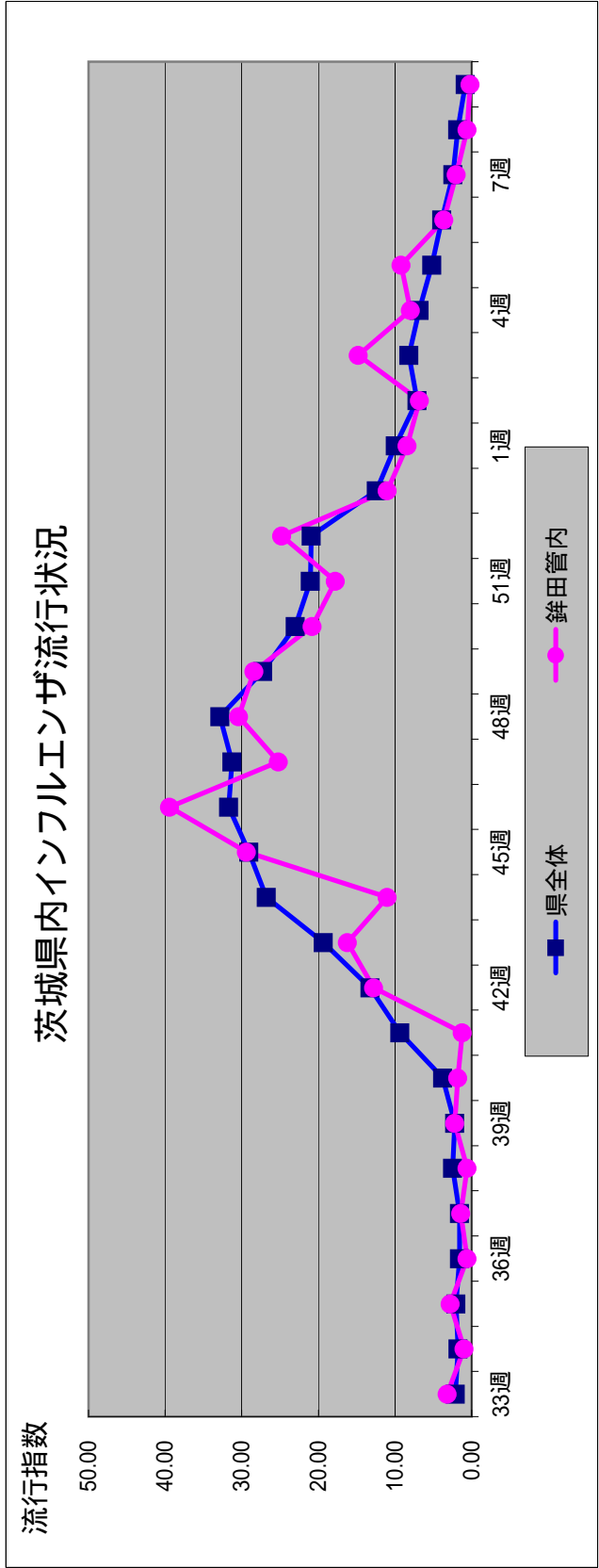
8 新型インフルエンザ定点報告による流行指数等 別紙1のとおり

9 新型インフルエンザの経過等 別紙2のとおり

茨城県内インフルエンザ流行状況

		注意報 発令							警報 発令						
		10/5~	10/12~	10/19~	10/26~	11/2~	11/9~	11/16~	11/23~	11/30~	12/7~	12/14~			
		41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週			
H21	8/10~	9/28~	9/21~	9/14~	9/7~	8/31~	8/24~	8/17~	8/10~	8/3~	7/27~	7/20~			
	33週	40週	39週	38週	37週	36週	35週	34週	33週	32週	31週	30週			
県全体	2.11	13.25	19.35	26.80	29.09	31.70	31.70	31.27	32.83	27.28	23.02	21.03			
鉾田管内	3.20	12.80	16.20	11.00	29.40	39.40	25.20	30.40	28.40	20.80	17.80	17.80			

		注意報 解除							警報 解除						
		2/8~	2/15~	2/22~	3/1~	3/8~	3/15~	3/22~	3/29~	4/5~	4/12~	4/19~	4/26~	5/3~	
		6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	
H22	12/28~	1/11~	1/18~	1/25~	2/1~	2/8~	2/15~	2/22~	3/1~	3/8~	3/15~	3/22~	3/29~	4/5~	
	53週	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	
県全体	20.92	7.13	8.17	6.86	5.18	3.90	2.43	1.81	0.82	0.58	0.21	0.13	0.10	0.00	
鉾田管内	24.80	6.80	14.80	8.00	9.20	3.60	2.00	0.60	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	



別紙2 新型インフルエンザの経過

時期	保健所の動き	関係機関との連携等 (市町村, 医師会, 医療機関, 消防, 警察, 学校など)	備考
海外発定期 H21.4.26～	<ul style="list-style-type: none"> 発熱外来設置に向けた現地視察。 保健所内での体制(検体搬送班, 疫学調査班, 連絡班など)の整備確認。 土日, 祝日の相談体制(名簿)整備 所内備蓄のPPEの確認。 所内の発熱外来の紹介手順を作成(随時更新) 保健所へ来所相談があったときの導線について確認。 所内職員の情報共有のため, パソコンの共用(△)ファイルを活用。 休日対応職員の申し送りファイル作成。 健康観察モニタリング対象者へ毎日連絡(土日含む) 	<p>4/30 銚田保健所管内関係機関対策情報連絡会議 市(保健・教育), 医師会・医療機関, 薬剤師会, 消防本部, 県民センター (現状と対応, 各機関の取り組み状況)</p> <p>5/1 銚田市より現状について報告(所内) 副市長, 健康増進課長 (対策本部立ちあげ報告, 広報打ち合わせ) 発熱外来設置医療機関との打ち合わせ (受け入れ時の具体的対応)</p> <p>5/13 管内市保健衛生部課長会議 (発生状況等の情報提供)</p> <p>5/15 発熱外来を設置していない管内病院事務長会議 (発熱外来の設置協力依頼, 診断の流れ等説明)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 所長をまじえての所内打ち合わせ会議を随時行う
国内発定期 H21.5.16～	<ul style="list-style-type: none"> 検体培地受け払い簿作成 保健所職員(検体搬送班, 疫学調査班)に対し, PPEや搬送手順・PPE備蓄場所の確認。 検体搬送班PPE訓練実施(条件など各場面を想定し, 訓練の助言を行った) 透析患者の対応力- 透析患者の相談Q&Aの作成。 発生状況(患者や濃厚接触者が活動した地域)の情報整理と所内共有(～7/24) 	<p>5/19 管内市担当部課長会議 (地域医療体制の確保, 確認事項の対応)</p> <p>5/21 新型インフルエンザ対策連絡会議(透析施設関係) 鹿行地区5医療機関 (国内の拡大防止対策, 透析施設における対策)</p> <p>5/29 医師会との連絡会議 市(保健), 医療機関 (国・県・管内市の対策, 医療体制の現状)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 潮来 HC と合同 潮来 HC と合同
県内発定期 H21.6.16～	<ul style="list-style-type: none"> 所内対策班長会議を開催し, 班業務の確認と記録類の確認を行った。 「患者発生時フロー図」の作成 全医療機関の診療時間・休診日リスト作成 <p>6/22 食生活改善推進員への衛生講話</p> <p>7/1～ 社会福祉施設巡回指導時に情報提供, 注意喚起</p>	<p>6/23 銚田・潮来管内(5市)連絡会議 (運用指針, 患者発生状況, 緊急連絡体制) ・県内発生状況の情報提供(医師会・各市等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 潮来 HC と合同
保健所管内発定期 (全数把握) ～H21.7.24	<p>《管内の初発患者 H21.7.11》</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者及び濃厚接触者へ「感染防止に必要な協力について」文書で依頼 積極的疫学調査及び患者・濃厚接触者の健康観察について統一した調査, 対応ができるよう, 所内保健師間の情報共有。 	<ul style="list-style-type: none"> 管内発生状況の情報提供(医師会, 各市等) 	<ul style="list-style-type: none"> 潮来 HC と合同
保健所管内発定期 (クワダのみ把握) H21.7.26～	<ul style="list-style-type: none"> 管内のクラスターとなった集団の長に対し, 「感染防止に必要な協力について」文書で依頼 所内のクラスターの情報共有 クラスターに成る可能性のある集団の発生状況一覧表を作成し共有 管内地図にクラスター発生状況をマージン 学級閉鎖等措置校に色別の付箋貼付 	<p>7/30 潮来・銚田 HC 連絡会議 市(保健), 医療機関 (運用指針, 医師の届出, クワダ・サヘイワズ, 相談体制) ・クラスターの情報提供(医師会・マージン)活用 ・感染症発生動向調査にて管内が警戒となった時点(46週)で管内医療機関へ情報提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> 潮来 HC と合同

<p>保健所管内発生期 (限られたワズ-) H21.11.2~</p>	<ul style="list-style-type: none"> 管内行政機関での集団発生対応 「集団施設に対する助言等の基本的申し合わせ事項」を作成し所内周知 <p>8/25 銚田市養護教諭部会にて衛生講話(保健師)</p> <p>9/25 社会福祉施設職員への衛生講話(保健師)</p> <p>9/29 民生児童委員への衛生講話(保健師)</p> <p>10/20 土地改良施工技術者等への衛生講話(保健師)</p> <p>10/29 行方市養護教諭部会にて衛生講話(保健師)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校欠席者サーベイランスの導入 <p>12/1 鹿島地区学校保健会にて衛生講話(所長)</p> <p>12/9 行方地区学校保健会にて衛生講話(所長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ワクチン接種に関する相談が増加。接種可能医療機関情報を提供 	<p>10/1 「新型コロナウイルスワクチン予防接種基本指針」決定(新型コロナウイルス対策本部)</p> <p>10/13 新型コロナウイルス予防接種業務委託契約を国と締結した医療機関で予防接種が実施可能となる</p> <p>10/19 医療従事者へのワクチン接種開始</p>	<p>管内各市教育局委員会の学級閉鎖措置開始基準を確認</p> <p>11/2 妊婦及び基礎疾患を有する者へのワクチン接種開始</p> <p>12/1 幼児(1歳から就学前)へのワクチン接種開始</p> <p>12/14 小学校全学年, 1歳未満児等の保護者へのワクチン接種開始</p> <p>12/21 中学校全学年へのワクチン接種開始</p> <p>12/28 高校全学年, 高齢者(65歳以上)への接種開始</p> <p>1/16 健康成人へのワクチン接種開始</p>
---	--	--	---

平成22年度 鉾田保健所 年間行事予定表

月	総務課（地域保健推進室）	衛生課	健康指導課
通年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定例保健所長会（毎月1回） ・ 医療施設実態調査（毎月1回） ・ 病院報告（毎月1回） ・ 地域ケアシステム推進事業（サービス調整会議） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水道施設・給水施設立入検査（年間） ・ 生活衛生関係相談受付及び関連調査 ・ 衛生関係営業申請受付と許可事務 ・ 衛生関係営業施設の監視指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 結核診査会（毎月1回） 場所：潮来保健所 ・ エイズ・性感染症・肝炎ウイルス相談（週1回 毎週火曜日） ・ 精神クリニック（毎月第3水曜日） ・ 接触者健診・管理検診・定期病状調査（随時） ・ 管内保健師業務研究会（年7回） ・ DOT Sカンファレンス（月1回） ・ 感染症サーベイランス報告（毎週及び月報） ・ 子育て支援健康講座（年3回） ・ 児童思春期地域連絡会議（随時） ・ 長期療養児療育支援事業（年2回） ・ 総合母子保健福祉ネットワークワーキング会議（年3回） ・ 児童虐待未然防止のための親支援グループミーティング ・ 精神保健福祉ケースカンファレンス（行方市，鉾田市）
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護認定調査員新規研修 ・ 臨床研修医研修（なめがた地域総合病院） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭用品試買試験検査 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管内市食生活改善推進団体連絡協議会役員会 ・ 健康増進事業実績ヒアリング
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管内市保健衛生担当部課長情報連絡会議 ・ 臨床研修医研修（なめがた地域総合病院） ・ 介護認定調査員新規研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不正大麻・けし撲滅運動（4/20～7/31） 不正大麻・けし重点指導取組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯の衛生に関するポスターコンクール 地方審査会 ・ 鉾田市食生活改善推進連絡協議会総会 ・ 行方市食生活改善推進連絡協議会総会 ・ 原子爆弾被爆者健康診断 ～6月

月	総務課（地域保健推進室）	衛生課	生 課	健康指導課
6月	<ul style="list-style-type: none"> 看護学生実習 臨床研修医研修（なめがた地域総合病院） 病院等立入検査（診療所・歯科診療所）～8月 平成20年度地域保健・健康増進事業報告 	<ul style="list-style-type: none"> 鉾田地区薬物乱用防止指導員協議会総会 水道週間（6/1～7） 「ダム。ゼッタイ。」普及運動（6/20～7/19） 626ヤング街頭キャンペーン 県内農産物の残留農薬検査 給食施設衛生管理検証事業 登録販売者試験願書受付 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症法37条自己負担額再認定 母と子のよい歯のコンクール 第一次審査 HIV検査普及週間 管内食生活改善推進団体連絡協議会総会 一般特定疾患医療給付更新申請～8月 給食施設巡回指導～7月 	
7月	<ul style="list-style-type: none"> 臨床研修医研修（なめがた地域総合病院） 	<ul style="list-style-type: none"> 食肉の試験検査 食品衛生指導員研修会 食中毒予防月間～8月 海兵地区季節営業許可申請受付・講習会 プールの水質検査 海兵地区安全対策会議（鉾田市） 調理師試験願書受付 健康食品販売実態調査 	<ul style="list-style-type: none"> 高校生のつどい 	
8月	<ul style="list-style-type: none"> 臨床研修医研修（なめがた地域総合病院） 	<ul style="list-style-type: none"> 夏期食品一斉取組み（監視・収去検査） 生食用鮮魚介類の試験検査検体収去 給食施設従事者衛生講習会 調理師試験関係事業 食品衛生指導員夏期巡回指導関係事業 	<ul style="list-style-type: none"> 給食施設従事者衛生講習会 管理栄養士コース学生実習 たばこ対策推進員連絡会 	
9月	<ul style="list-style-type: none"> 救急処置普及事業 原子力防災訓練 臨床研修医研修（なめがた地域総合病院） 病院等立入検査（病院）～11月 	<ul style="list-style-type: none"> 薬事関係研修会 調理師免許証交付申請・免許証の交付 社会福祉施設等給食施設監視指導 畜水産食品中の動物用医薬品検査 魚介類水銀PCB等試験検査 健康食品の試験試験検査 卵及びその加工品の試験検査 	<ul style="list-style-type: none"> 難病講演会 	

月	総務課（地域保健推進室）	衛生課	健康指導課
10月		<ul style="list-style-type: none"> 薬と健康の週間（10/17～23） 往頂「薬の相談所」開設 麻薬・覚せい剤乱用防止運動（10/1～11/30） 美容組合衛生講習会 食品衛生フェア クリーニング所立入検査（～12月） 	<ul style="list-style-type: none"> 食育支援ネットワーク連絡会 精神障害者の明るくらし促進事業
11月		<ul style="list-style-type: none"> 麻薬年間届出・免許申請受付 給食施設衛生管理検証事業 	<ul style="list-style-type: none"> エイズ予防キャンペーン 健康増進事業交付申請取りまとめ 精神障害者の明るくらし促進事業 原子爆弾被爆者健康診断 ～12月
12月	<ul style="list-style-type: none"> 公務災害研修会 	<ul style="list-style-type: none"> 年末食品一斉取締り（監視・収去検査） 食品衛生指導員年末巡回指導関係事業 理容組合銚田支部衛生講習会関係事業 	<ul style="list-style-type: none"> 結核研修会
1月		<ul style="list-style-type: none"> 理容所立入検査（～3月） 美容所立入検査（～3月） 県内農産物の残留農薬検査 	<ul style="list-style-type: none"> 給食施設巡回指導 ～2月
2月	<ul style="list-style-type: none"> 鹿行保健医療福祉協議会 医学生研修（筑波大生） 	<ul style="list-style-type: none"> 食品衛生指導員研修会 	<ul style="list-style-type: none"> 地域・職域連携推進協議会 在宅療養支援計画策定評価委員会 先天性血液凝固因子障害医療受給者証更新申請 ～3月
3月	<ul style="list-style-type: none"> 地域保健推進協議会公衆衛生功労者表彰 地域保健総合推進事業発表会 地域リハステーション補助金実績報告 		<ul style="list-style-type: none"> 管内保健師業務研究会役員会